

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	摂南大学
設置者名	学校法人常翔学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・ 通信 制の 場合	実務経験のある 教員等による 授業科目の単位数				省令 で定 める 基準 単位 数	配 置 困 難
			全学 共通 科目	学部 等 共通 科目	専門 科目	合計		
理工学部	生命科学科		74	17	17	108	13	
	住環境デザイン 学科			17	8	99	13	
	建築学科			13	76	163	13	
	機械工学科			17	16	107	13	
	電気電子工学科			17	10	101	13	
	都市環境工学科			17	15	106	13	
外国語学部	外国語学科			12	27	113	13	
経営学部	経営学科			21	36	131	13	
	経営情報学科			17	36	127	13	
法学部	法律学科			21	22	117	13	
経済学部	経済学科		13	38	125	13		
薬学部	薬学科		44	18	66	128	19	
看護学部	看護学科		44	10	108	162	13	
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

<a href="https://portal.setsunan.ac.jp/CAMJWEB/slbsskgr.do?clearAccessData=true">https://portal.setsunan.ac.jp/CAMJWEB/slbsskgr.do?clearAccessData=true</a>
---

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
------

(困難である理由)
-----------

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	摂南大学
設置者名	学校法人常翔学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

<p>ホームページ : <a href="http://www.josho.ac.jp/introduction/">http://www.josho.ac.jp/introduction/</a>          学園広報誌「FLOW」 : 2018年8月10日発行 P.27 ~P.28  <a href="http://www.josho.ac.jp/flow/">http://www.josho.ac.jp/flow/</a></p>
---

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
常勤	株式会社 特別顧問	2018年7月20日～ 2020年7月19日	理事長
非常勤	法律事務所所長	2018年7月20日～ 2020年7月19日	労務担当
非常勤	一般社団法人理事長	2018年7月20日～ 2020年7月19日	産学連携担当
非常勤	株式会社代表取締役 会長	2018年7月20日～ 2020年7月19日	産学連携担当
非常勤	財団法人理事長	2018年7月20日～ 2020年7月19日	卒業生担当
(備考)			

様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	摂南大学
設置者名	学校法人常翔学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>当該授業科目の開講前年度の 1 月までに授業担当者が授業計画(シラバス)を作成し、授業開講学科の学科長承認および授業開講責任者である学部長の承認を経て、3 月下旬にホームページで公表している。</p> <p>授業計画(シラバス)には、「授業概要・目的」「到達目標」「授業方法と留意点」「科目学習の効果(資格)」「授業計画(各回の授業テーマ、内容、事前事後学習課題)」「関連科目」「教科書・参考書」「評価方法(基準)」「担当者の研究室等」などを記載している。</p>	
授業計画書の公表方法	<a href="https://portal.setsunan.ac.jp/CAMJWEB/slbsskgr.do?clearAccessData=true">https://portal.setsunan.ac.jp/CAMJWEB/slbsskgr.do?clearAccessData=true</a>

2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)

成績評価は、授業科目ごとに授業計画に定めた方法と基準により行い、100点満点で60点以上を合格として単位を認定している。

成績の評価基準、評語およびGP(グレードポイント)は次のとおり。

成績	評語	GP(グレードポイント)	合否
認定	T		認定
100点~90点	A	4	合格
89点~80点	B	3	
79点~70点	C	2	
69点~60点	D	1	
	S		
59点~40点	E	0	不合格
39点~0点	F		
定期試験未受験、 評価不能	*		
	U		

履修については、年間上限単位数を48単位(経営学部は46単位)と定めており、教職科目等を除いてこれを超える履修は認めていない。

また、各年次において、上位年次への進級要件を定めており、これを充足しない場合には、上位年次配当科目の履修を許可しない。

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>															
<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>全学部ともGPAを導入している。算出方法は次のとおり。</p> $\text{GPA} = \frac{(4 \times \text{Aの修得単位数}) + (3 \times \text{Bの修得単位数}) + (2 \times \text{Cの修得単位数}) + (1 \times \text{Dの修得単位数})}{\text{履修した授業科目の単位数の総和}}$ <p>GPAの算出対象科目は、卒業に必要な単位に含めることができない科目、および成績の評語が「T」「S」「U」の科目を除くすべての科目。</p> <p>なお、入学時からの累積GPAが1.3以上ない場合は卒業を許可しない。</p> <p>学生には入学時のガイダンスのほか、毎年実施する履修ガイダンスにおいて、GPA制度について周知徹底を図っている。</p>															
客観的な指標の算出方法の公表方法	<a href="https://www.setsunan.ac.jp/gakusei/academicachievement-gpa.html">https://www.setsunan.ac.jp/gakusei/academicachievement-gpa.html</a>														
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>															
<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>学士課程および各学部・学科ごとに卒業認定・学位授与（ディプロマポリシー）を定めている。</p> <p>学部ごとに卒業に必要な単位数を次のとおり定めるとともに、単位数だけでなく専門科目・教養科目等の科目区分ごとに必要な単位数の要件を定めている。</p> <table border="0"> <tr> <td>理工学部</td> <td>124 単位以上</td> </tr> <tr> <td>外国語学部</td> <td>124 単位以上</td> </tr> <tr> <td>経営学部</td> <td>124 単位以上</td> </tr> <tr> <td>薬学部</td> <td>187 単位以上</td> </tr> <tr> <td>法学部</td> <td>124 単位以上</td> </tr> <tr> <td>経済学部</td> <td>124 単位以上</td> </tr> <tr> <td>看護学部</td> <td>128 単位以上</td> </tr> </table>		理工学部	124 単位以上	外国語学部	124 単位以上	経営学部	124 単位以上	薬学部	187 単位以上	法学部	124 単位以上	経済学部	124 単位以上	看護学部	128 単位以上
理工学部	124 単位以上														
外国語学部	124 単位以上														
経営学部	124 単位以上														
薬学部	187 単位以上														
法学部	124 単位以上														
経済学部	124 単位以上														
看護学部	128 単位以上														
卒業の認定に関する方針の公表方法	<a href="https://www.setsunan.ac.jp/aboutus/policy/">https://www.setsunan.ac.jp/aboutus/policy/</a>														

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	摂南大学
設置者名	学校法人常翔学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	学園ホームページ <a href="http://www.josho.ac.jp/introduction/outline.html">http://www.josho.ac.jp/introduction/outline.html</a>
収支計算書又は損益計算書	〃
財産目録	〃
事業報告書	〃
監事による監査報告(書)	〃

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:2019年度 事業計画 対象年度:2019年度)
公表方法: <a href="https://www.setsunan.ac.jp/2019jigyokeikaku.pdf">https://www.setsunan.ac.jp/2019jigyokeikaku.pdf</a>
中長期計画(名称:常翔学園 創立100周年 長期ビジョン 対象年度:~2022年度)
公表方法: <a href="https://www.josho.ac.jp/introduction/file/J-Vision22.pdf">https://www.josho.ac.jp/introduction/file/J-Vision22.pdf</a>

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: <a href="https://www.setsunan.ac.jp/aboutus/jikotenken.html">https://www.setsunan.ac.jp/aboutus/jikotenken.html</a> <a href="https://www.setsunan.ac.jp/img/aboutus/jikohyoukahoukokusyo-setsunan28.pdf">https://www.setsunan.ac.jp/img/aboutus/jikohyoukahoukokusyo-setsunan28.pdf</a>
--

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法: <a href="https://www.setsunan.ac.jp/aboutus/jikotenken.html">https://www.setsunan.ac.jp/aboutus/jikotenken.html</a> <a href="https://www.setsunan.ac.jp/img/aboutus/hyoukahoukokusyo-setsunan28.pdf">https://www.setsunan.ac.jp/img/aboutus/hyoukahoukokusyo-setsunan28.pdf</a>
--

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 法学部 法律学科
教育研究上の目的（公表方法：「SETSUNAN UNIVERSITY GUIDE BOOK 2020（大学案内）」（刊行本）（入手方法：電話・HP から資料請求） <a href="https://www.setsunan.ac.jp/aboutus/policy/hogaku/">https://www.setsunan.ac.jp/aboutus/policy/hogaku/</a> ）
（概要）幅広い教養と法学・政治学・法政策学に関わる専門的知識に裏打ちされ、論理的に問題解決ができる能力を有し、主体的に社会貢献をなすうる人間力を持った人材を養成する。
卒業の認定に関する方針（公表方法：「SETSUNAN UNIVERSITY GUIDE BOOK 2020（大学案内）」（刊行本）（入手方法：電話・HP から資料請求） <a href="https://www.setsunan.ac.jp/aboutus/policy/hogaku/">https://www.setsunan.ac.jp/aboutus/policy/hogaku/</a> ）
（概要）ディプロマ・ポリシー（DP：卒業認定・学位授与の方針）本学科の課程を修め、所定の単位を修得したうえで、次の要件を満たした者に学士（法学）の学位を授与します。 <b>■知識・理解</b> [DP 1] 国際的教養人として多様な価値観の存在を認めることができるために、人文・社会・自然科学などからなる教養科目および基礎科目を配当し、幅広い教養に関する知識を身につけている。（専門科目学習の前提となる教養に関する知見） [DP 2] 憲法、民法、刑法などを学ぶ「法学」、行政学、国際政治などを学ぶ「政治学」、地域政策、スポーツ法政策などを学ぶ「法政策学」に関する専門的な知識および理解力を有している。（専門科目の基礎知識） <b>■思考・判断</b> [DP 3] 法学・政治学・法政策学の専門的知識を活用することができる。（応用問題対応力） [DP 4] 法学・政治学・法政策学の専門的知識を運用し、応用的問題に対する解決策を立案することができる。（応用問題対応・解決力） [DP 5] 社会における諸問題を認知し、利害の衝突を予測したうえで、バランスの取れた解決方法を思考することができる。（リーガルマインド） <b>■関心・意欲・態度</b> [DP 6] ゼミ活動やグループワークを行う際に、メンバーの意見に耳を傾け、相手の立場に立ちつつ、協調して活動することができる。（チームワーク） [DP 7] 将来のキャリア形成のため、自主的、計画的に学習する姿勢を身につけている。（能動性・主体性） <b>■技能・表現</b>



[DP8] 現代社会における法的、政治的問題に対する情報に興味を持って接し、ゼミ内でそれらの諸問題について、他者に配慮しながら双方向の議論を行うことができる。(コミュニケーション能力)

[DP9] 修得した法学・政治学・法政策学の知識をもとに、自分の考えを口頭ないし文字での確に表現することができる。(自らの考えを口頭、文章等で正しく表現する力)

[DP10] 修得した法学・政治学・法政策学の知識をもとに、論拠をもって他者を説得することができる。(論拠をもって他者を説得する力)

教育課程の編成及び実施に関する方針(公表方法:「SETSUNAN UNIVERSITY GUIDE BOOK 2020(大学案内)」(刊行本)(入手方法:電話・HPから資料請求)  
<https://www.setsunan.ac.jp/aboutus/policy/hogaku/>)

(概要)カリキュラム・ポリシー(CP:教育課程編成・実施の方針)ディプロマ・ポリシーに掲げる目標を達成するため、次のとおり教育課程を編成・実施します。

■知識・理解

①人々の生き方や社会のあり方を多面的に理解できる国際的教養人としての素養を身につけるため、外国語、情報処理などの分野からなる基礎科目および人文社会系、自然系、地域志向系などの分野からなる教養科目を配当する。

②法学・政治学・法政策学の学問内容および方法論に関する体系的な知識を修得するため、1年次前期には導入として法学と政治学に関する概論科目、1年次後期から2年次にかけて専門基礎科目を段階的に配当する。さらに、基礎から応用までの法学・政治学の知識を段階的かつ体系的に深めるため、2年次から分属する「法律学特修」、「企業法務」、「地域政策」、「スポーツ法政策」の各コースに対応した、「国際取引法」、「地方自治法」、「租税法」、「経済刑法」など法学の専門性を広げる科目を配当する。

■思考・判断

③法学・政治学・法政策学の専門的知識を活用し、社会における応用的問題を認知し、利害の衝突を予測したうえで、バランスの取れた解決方法を思考する力を身につけるため、2年次からは、専門基礎科目の修得を前提に、公法・刑事法・民事法に関する「応用講義」などの発展的専門科目を配当する。

■関心・意欲・態度

④ゼミ活動やグループワークを行う際に、メンバーの意見に耳を傾け、相手の立場に立ちつつ、協調して活動することができる力を身につけるため、2年次後期からは、学生各自の関心に応じて研究テーマを設定し、協同作業を通じた研究成果の発表を行いつつ、問題点を発見し、それに対する解決力を修得する少人数制の「専門演習」を配当する。

⑤将来のキャリア形成や、自主的、計画的に学習する習慣を身につけるため、初年次からキャリア形成科目を配当する。さらに、3年次からは、法学の分野を中心と

して、将来のキャリア目標に向けた心構えと準備学習の機会として、少人数からなる「法政キャリア特別講義」を配当する。

■技能・表現

⑥現代社会における法的、政治的問題に対する情報に興味を持って接し、ゼミ内でそれらの諸問題について、他者に配慮しながら議論する力を身につけるため、法学と政治学に関する少人数制の演習科目（1年次「法学基礎演習Ⅰ・Ⅱ」、2年次「プレ専門演習」、「専門演習Ⅰ」、3年次「専門演習Ⅱ」）を配当する。

⑦修得した法学・政治学・法政策学の知識をもとに、自分の考えを口頭ないし文章での確に表現する力を身につけるため、学生各自が2年次後期から3年次までのゼミ活動を通じて設定した研究テーマに関する卒業論文の執筆と成果の発表を目標とする「卒業研究」を4年次に配当する。

入学者の受入れに関する方針（公表方法：「SETSUNAN UNIVERSITY GUIDE BOOK 2020（大学案内）」（刊行本）（入手方法：電話・HPから資料請求）  
<https://www.setsunan.ac.jp/aboutus/policy/hogaku/>）

（概要）アドミッション・ポリシー（AP：入学者受入れの方針）本学科のディプロマ・ポリシーおよびカリキュラム・ポリシーを理解し、次に掲げる知識・技能・意欲などを備え、入学後は学修・課外活動に主体的に取り組む人を求めます。

■知識・理解

①法学・政治学・法政策学の文献の読解および社会科学的文章の表現力の基礎となる「読む・書く」という能力を身につけるための「国語」を修得している。

②法学部で学ぶ諸科目の修得のために必要な基礎的教養・知識である「世界史」、「日本史」などの人文科学、「現代社会」、「政治・経済」などの社会科学、数理学および語学（英語）などに関する高等学校の教育課程を幅広く修得している。

■思考・判断

③資料を数理的に捉えて理解し、分析するための基礎的な思考能力を身につけている。

■関心・意欲・態度

④法律や政治について興味を持ち、大学で学ぶ法律学や政治学や法政策学についての知識や経験を社会で活かしたいという意欲があり、自らの将来のキャリア形成について真剣に考え、その実現のために主体的・計画的に学修する意欲・態度を有している。

⑤課外活動やボランティア活動に、他者と協働して、主体的に取り組んだ経験がある。

■技能・表現

⑥自身の考えを他者に伝えることのできるコミュニケーション能力（国語表現力と英語力）を有している。

⑦取得した資格やスポーツの経験などを特定の分野において活用できる能力や技

能を有している。

入学者選抜の実施にあたっては、学力試験、適性検査をはじめとして、大学入試センター試験、面接、学修計画書、小論文、高等学校調査書、英語ほかの資格検定試験の結果などを入試毎に組み合わせて評価します。

学部等名 外国語学部 外国語学科
<p>教育研究上の目的（公表方法：「SETSUNAN UNIVERSITY GUIDE BOOK 2020（大学案内）」（刊行本）（入手方法：電話・HP から資料請求）  <a href="https://www.setsunan.ac.jp/aboutus/policy/gaikokugo/">https://www.setsunan.ac.jp/aboutus/policy/gaikokugo/</a>）</p>
<p>（概要）外国語と日本語によるコミュニケーション能力および異文化と日本の文化に対する理解を涵養し、人間力・実践力・統合力を身につけた、異文化接触の現場で活躍できる知的専門職業人を養成する。</p>
<p>卒業の認定に関する方針（公表方法：「SETSUNAN UNIVERSITY GUIDE BOOK 2020（大学案内）」（刊行本）（入手方法：電話・HP から資料請求）  <a href="https://www.setsunan.ac.jp/aboutus/policy/gaikokugo/">https://www.setsunan.ac.jp/aboutus/policy/gaikokugo/</a>）</p>
<p>（概要）ディプロマ・ポリシー（DP：卒業認定・学位授与の方針）本学科の課程を修め、所定の単位を修得したうえで、次の要件を満たした者に学士（文学）の学位を授与します。</p> <p><b>知識・理解</b></p> <p>〔DP 1〕言語と文化が果たす役割や機能に基づいて、人間社会の学術的考察に必要な知識やリテラシーを身につけている。（一般教養と専門教育の基礎知識）</p> <p>〔DP 2〕グローバルな視点で国際社会の多様性を理解するとともに、世界と日本の関係について人文・社会学的研究を行うための専門知識を身につけている。（人文・社会分野の国際的専門知識）</p> <p><b>■思考・判断</b></p> <p>〔DP 3〕言語・文化・国際社会における問題を発見し、その解決に必要な情報の収集、分析、結論に至るまでの追究の計画・立案にかかる思考力と判断力を身につけている。（計画・立案力）</p> <p>〔DP 4〕課題に対する計画的な解決策に基づいて、論理的な思考および多面的・多角的な判断を行うことができる。（問題解決力）</p> <p><b>■関心・意欲・態度</b></p> <p>〔DP 5〕問題解決のために他者と協調して活動するとともに、社会的規範やマナーを遵守して行動することができる。（チームワーク・倫理観）</p> <p>〔DP 6〕課題や問題の解決のために必要な事柄について、主体的かつ継続的に学ぶ意欲や態度を身につけている。（学習意欲・態度）</p> <p><b>■技能・表現</b></p> <p>〔DP 7〕＜英語プロフェッショナルコース＞  国際社会において円滑なコミュニケーションを可能にするような高いレベルの英語の4技能（聞く、話す、読む、書く）を身につけている。</p> <p>＜国際キャリアコース＞  各専攻言語（英語、スペイン語、中国語、インドネシア・マレー語）について日本語と比較しながら学び、将来のキャリアにつながるようなコミュニケーション能力</p>

を身につけている。(コミュニケーション力)

[DP8] <英語プロフェッショナルコース>

必修となっている海外留学の経験なども含めて、英語での議論やプレゼンテーションをしっかりと行うことができる表現力を身につけている。

<国際キャリアコース>

各専攻言語圏(英語圏、スペイン語圏、中国語圏、インドネシア・マレー語圏)などの言語はもとより文化や歴史についても日本(語)と比較しながら学び、調査や発表を行う技能や表現力を身につけている。(発表力・調査力)

教育課程の編成及び実施に関する方針(公表方法:「SETSUNAN UNIVERSITY GUIDE BOOK 2020(大学案内)」(刊行本)(入手方法:電話・HPから資料請求)  
<https://www.setsunan.ac.jp/aboutus/policy/gaikokugo/>)

(概要)カリキュラム・ポリシー(CP:教育課程編成・実施の方針)ディプロマ・ポリシーに掲げる目標を達成するため、次のとおり教育課程を編成・実施します。

知識・理解

① 人間社会において言語と文化が果たす役割や機能などについての知識を習得するために、1年次にはその導入として基礎科目の「英語」「情報処理」など、2年次から3年次にかけては基礎科目の「英語」「中国語」「スペイン語」「インドネシア語」「韓国語」「フランス語」「時事問題」、教養科目の「心理学」「世界の政治」「自然科学の理解」などを段階的に配当する。

② グローバルな視点で国際社会の多様性を理解し、日本に関する人文・社会的知識を習得するために、1年次にはその導入として文化・社会科目の「各語圏概論」「言語学」「日本文学」など、2年次には文化・社会科目の「異文化接触論」「国際社会論」やパッケージプログラム科目の「ホスピタリティ論」「メディア文化論」、そして3年次には文化・社会科目の「ヨーロッパ史学」「現代学術論」やパッケージプログラム科目の「ビジネスコミュニケーション論」「グローバル社会と日本」などを段階的に配当する。

■思考・判断

③ 思考力と判断力に基づいて問題を発見し、その解決に必要な情報の収集・分析・結論に至るまでの研究過程を計画・立案する力を養成するため、1年次から4年次にかけてゼミおよび卒業研究を段階的に配当する。

④ 課題に対する計画的な解決策に基づいて、論理的な思考力および多面的・多角的な判断力を養成するために、1年次から4年次にかけてゼミおよび卒業研究を段階的に配当する。

■関心・意欲・態度

⑤ 問題解決のために他者と協調して活動することや、社会的規範やマナーを遵守して行動することを身につけるために、1年次から4年次にかけてゼミおよび卒業研究を段階的に配当する。

⑥ 課題や問題の解決のために必要な事柄について、主体的かつ継続的に学ぶ意欲や態度を身につけるために、1年次から4年次にかけてゼミおよび卒業研究を段階的に配当する。

■技能・表現

⑦-1 <英語プロフェッショナルコース>

国際社会において円滑なコミュニケーションを可能にするような高いレベルの英語の4技能（聞く、話す、読む、書く）を身につけるために、1年次にはその導入として「ボキャブラリー&グラマー」「スピーキング&ライティング」など、2年次前期には「Practical English Conversation」「Integrated Skills Training」など、そして2年次後期にはコース所属の全員が英語圏の大学に海外留学する。帰国後の3年次には「English for Global Communication」「Comprehensive English」など、さらに4年次には「Oral Communication」などを段階的に配当する。

⑦-2 <国際キャリアコース>

各専攻言語（英語、スペイン語、中国語、インドネシア・マレー語）について日本語と比較しながら学び、将来のキャリアにつながるようなコミュニケーション能力を身につけるために、1年次にはその導入として「中国語を聞く/読む/書く/話す」「スペイン語入門」「インドネシア語入門」など、2年次には「スペイン語文章構成」「総合インドネシア語」など、3年次には「スペイン語通訳」「実践インドネシア・マレー語」など、さらに4年次には「中国語コミュニケーション」「スペシャリストインドネシア・マレー語」などを段階的に配当する。

⑧-1 <英語プロフェッショナルコース>

英語での議論やプレゼンテーションをしっかりと行うことができる表現力を身につけるために、1年次にはその導入として「プレゼンテーション」「トピックスタディーズ」など、2年次前期には「Global Issues」「Academic Reading/Writing」など、そして2年次後期にはコース所属の全員が英語圏の大学に海外留学する。帰国後の3年次には「English Lecture」「Debate & Presentation」など、さらに4年次には「Advanced English」などを段階的に配当する。

⑧-2 <国際キャリアコース>

各専攻言語圏（英語圏、スペイン語圏、中国語圏、インドネシア・マレー語圏）などの言語はもとより文化や歴史についても日本（語）と比較しながら学び、調査や発表を行う技能や表現力を身につけるために、1年次にはその導入として「ビジネス中国語」「ドラマ」など、2年次には「メディアイングリッシュ」「観光中国語」「旅行インドネシア語」など、3年次には「貿易中国語」「映画/メディアのスペイン語」「時事インドネシア・マレー語」など、さらに4年次には「ビジネスイングリッシュ」「スペイン語プレゼンテーション」などを段階的に配当する。

入学者の受入れに関する方針（公表方法：「SETSUNAN UNIVERSITY GUIDE BOOK 2020  
（大学案内）」（刊行本）（入手方法：電話・HP から資料請求）  
<https://www.setsunan.ac.jp/aboutus/policy/gaikokugo/>）

（概要）アドミッション・ポリシー（AP：入学者受入れの方針）本学科のディプロマ・ポリシーおよびカリキュラム・ポリシーを理解し、次に掲げる知識・技能・意欲などを備え、入学後は学修・課外活動に主体的に取り組む人を求めます。

■知識・理解

① 外国語学部で学ぶ諸科目の前提となる「英語」や「国語」などの科目を中心に、高等学校の教育課程を幅広く修得し、基礎的教養を身につけている。

■思考・判断

② 論理的な思考力や、多面的・多角的な判断力の基礎となる文章読解力・記述力および表現力を身につけている。

■関心・意欲・態度

③ 言語や文化に関心を持ち、大学で学んだ語学や社会・文化論などを自分の将来のキャリアに活かしたいという意欲があり、またそれらを主体的かつ協調的に学ぶ姿勢・態度を身につけている。

■技能・表現

④ 外国語学部の教育の柱である語学力を養成するために、語学検定試験などに積極的に取り組む姿勢やその実績、およびコミュニケーション能力の基礎を身につけている。

入学者選抜の実施にあたっては、学力試験、適性検査をはじめとして、大学入試センター試験、面接、学修計画書、小論文、高等学校調査書、英語ほかの資格検定試験の結果などを入試毎に組み合わせて評価します。

学部等名 経済学部 経済学科
教育研究上の目的（公表方法：「SETSUNAN UNIVERSITY GUIDE BOOK 2020（大学案内）」 （刊行本）（入手方法：電話・HP から資料請求） <a href="https://www.setsunan.ac.jp/aboutus/policy/keizai/">https://www.setsunan.ac.jp/aboutus/policy/keizai/</a> ）
（概要）経済学を基礎として幅広い見識と豊かな人間性を有し、現代の経済社会の諸問題に積極的に取り組むことのできる知的・専門的経済人を養成する。
卒業の認定に関する方針（公表方法：「SETSUNAN UNIVERSITY GUIDE BOOK 2020（大学案内）」（刊行本）（入手方法：電話・HP から資料請求） <a href="https://www.setsunan.ac.jp/aboutus/policy/keizai/">https://www.setsunan.ac.jp/aboutus/policy/keizai/</a> ）
<p>（概要）ディプロマ・ポリシー（DP：卒業認定・学位授与の方針）本学科の課程を修め、所定の単位を修得したうえで、次の要件を満たした者に学士（経済学）の学位を授与します。</p> <p>■知識・理解</p> <p>[DP1] 人文・社会・自然系などからなる教養および基礎科目を修得し、現代経済学の基礎理論を修得するための基礎知識を身につけている。（専門科目学習の前提となる教養に関する知見）</p> <p>[DP2] 経済社会が直面している問題の解決に取り組むことができる経済学の知識を有している。（応用問題対応力）</p> <p>■思考・判断</p> <p>[DP3] 経済学の専門知識を習得し、経済学的思考に基づき現代の経済社会が抱える課題について、合理的に問題を解決することができる。（応用問題対応力・解決力）</p> <p>[DP4] 他人の意見に耳を傾け、これらを取り入れることにより、多面的な思考を持った議論を行うことができる。（コミュニケーションおよびディスカッション能力）</p> <p>■関心・意欲・態度</p> <p>[DP5] 経済社会で起きている現象に興味を抱き、新聞・書籍などから積極的に情報を得ることができる。（能動性および主体性）</p> <p>[DP6] 経済学の知識を基に、国内外のフィールド調査に取り組むことができる。（能動性および主体性）</p> <p>[DP7] 幅広い教養と倫理観、人間性に関して理解し、人々に接することができる。（コミュニケーション能力）</p> <p>■技能・表現</p> <p>[DP8] ICT、論理的なコミュニケーションおよびプレゼンテーション力を身につけている。（論理的思考力およびプレゼンテーション能力）</p> <p>[DP9] 職業人・生活者として自立するとともに、経済活動を通じて社会の発展</p>



に貢献できる。(社会に対する観察力・能動性)

教育課程の編成及び実施に関する方針(公表方法:「SETSUNAN UNIVERSITY GUIDE BOOK 2020(大学案内)」(刊行本)(入手方法:電話・HPから資料請求)  
<https://www.setsunan.ac.jp/aboutus/policy/keizai/>)

(概要)カリキュラム・ポリシー(CP:教育課程編成・実施の方針)ディプロマ・ポリシーに掲げる目標を達成するため、次のとおり教育課程を編成・実施します。

■知識・理解

- ① 幅広い見識と豊かな人間性を涵養しながら、現代社会の諸問題に積極的に取り組むことができる知的・専門的能力を養うため、専門科目、基礎科目、教養科目およびキャリア形成科目を組み合わせ配置する。
- ② 経済学の基礎理論を学習する際に、ミクロ経済学・マクロ経済学などの経済学を学ぶうえで不可欠な必修科目と、簿記・金融論などの専門分析のための選択科目とを配置する。
- ③ 専門領域を重点的に学ぶため、2年次からの「地域経済」「観光経済」「国際経済」の3領域において、それぞれの領域に応じた専門科目を配置する。

■思考・判断

- ④ 論理的思考の修得を図るため、講義や演習の授業において、適宜、レポートなどを課す。
- ⑤ 少人数授業における報告発表・討論を通じて、人の意見に耳を傾け、これらを取り入れながら議論を深め、適切な判断力を養うために、「基礎演習」に始まり「専門演習Ⅰ」「専門演習Ⅱ」「卒業研究」と続く演習科目を配置する。

■関心・意欲・態度

- ⑥ 経済社会で起きている現象を研究テーマに選び、その研究に必要な情報収集方法を身につけるため、「基礎演習」「専門演習Ⅰ」「専門演習Ⅱ」「卒業研究」を全員必修の科目として配置する。
- ⑦ フィールド調査やインターンシップを通して主体的に行動できる力を養うため、「基礎演習」「専門演習Ⅰ」「専門演習Ⅱ」「卒業研究」の必修科目およびコースごとに設けている「実践演習」という選択科目を配置する。
- ⑧ 経済社会に関心を持ち、ゼミ内でその諸問題について他者に配慮しながら双方向の議論を行うことができるようにするため、少人数制の「基礎演習」「専門演習Ⅰ」「専門演習Ⅱ」「卒業研究」を配置する。

■技能・表現

- ⑨ 議論の経験を通してコミュニケーション能力を高め、また報告・発表を通してプレゼンテーション能力を高めるため、演習系科目を配置する。
- ⑩ 語学力・情報リテラシーの基礎を学ぶため、これらの基礎科目を配置し、それらをより高度な次元に昇華させるため、演習系科目を配置する。

入学者の受入れに関する方針（公表方法：「SETSUNAN UNIVERSITY GUIDE BOOK 2020  
（大学案内）」（刊行本）（入手方法：電話・HP から資料請求）  
<https://www.setsunan.ac.jp/aboutus/policy/keizai/>）

（概要）アドミッション・ポリシー（AP：入学者受入れの方針）本学科のディプロマ・ポリシーおよびカリキュラム・ポリシーを理解し、次に掲げる知識・技能・意欲などを備え、入学後は学修・課外活動に主体的に取り組む人を求めます。

■知識・理解

① 経済学部で学ぶ諸科目の前提となる、「国語」、「英語」、「地理歴史」、「公民」、「数学」など、高等学校の教育課程を幅広く修得し、基礎的素養を有している。

■思考・判断

② 資料や文章を読解し自分の考えを適切に表現するための論理的な思考力を身につけている。

③ 資料を数理的に捉えて理解し分析するための基礎的な思考力を身につけている。

■関心・意欲・態度

④ 経済や社会のニュースに関心があり、これらに対する探究心を持っている。

⑤ 人と議論を交わし、他人の意見を尊重し、価値観や文化の多様性を受け入れることができる。

⑥ 課外活動やボランティア活動に、他者と協働して、主体的に取り組んだ経験がある。

■技能・表現

⑦ 聞く・話す・読む・書くという基礎的なコミュニケーション能力を身につけている。

入学者選抜の実施にあたっては、学力試験、適性検査をはじめとして、大学入試センター試験、面接、学修計画書、小論文、高等学校調査書、英語ほかの資格検定試験の結果などを入試毎に組み合わせて評価します。

学部等名 経営学部 経営学科
教育研究上の目的（公表方法：「SETSUNAN UNIVERSITY GUIDE BOOK 2020（大学案内）」 （刊行本）（入手方法：電話・HP から資料請求） <a href="https://www.setsunan.ac.jp/aboutus/policy/keiei/keiei.html">https://www.setsunan.ac.jp/aboutus/policy/keiei/keiei.html</a> ）
（概要）企業を中心とする組織一般の運営に関する基礎的な理論と知識を身につけるとともに、幅広い教養をあわせ持ち、自律的・主体的に企業経営の一翼を担うことのできる、実行力ある知的専門職業人を養成する。
卒業の認定に関する方針（公表方法：「SETSUNAN UNIVERSITY GUIDE BOOK 2020（大学案内）」（刊行本）（入手方法：電話・HP から資料請求） <a href="https://www.setsunan.ac.jp/aboutus/policy/keiei/keiei.html">https://www.setsunan.ac.jp/aboutus/policy/keiei/keiei.html</a> ）
<p>（概要）ディプロマ・ポリシー（DP：卒業認定・学位授与の方針）本学科の課程を修め、所定の単位を修得したうえで、次の要件を満たした者に学士（経営学）の学位を授与します。</p> <p>■知識・理解</p> <p>[DP1] 社会人として必要な教養と知的専門職業人として活躍するための基盤となる経営学および会計/ファイナンスなどの経営諸科学に関する基礎知識とスキルを身につけている。（一般教養・基礎的経営専門知識）</p> <p>■思考・判断</p> <p>[DP2] 企業を含む組織における一連の意思決定プロセスにおいて必要となる、①問題発見能力 ②問題解決に向け必要となる情報の収集・選別・分析力 ③それらを踏まえた計画の立案と実施に係る思考力・判断力・実践力、を身につけている。（問題発見能力、情報の収集力と分析力、実践力）</p> <p>■関心・意欲・態度</p> <p>[DP3] 社会・組織の規範を守り、組織の一員として主体的かつ協働して組織の価値向上に努める態度と意欲を身につけている。（社会規範、多様性の理解、チームワークとリーダーシップ）</p> <p>[DP4] 企業を含む組織が直面する問題に関心をもち、それらの問題解決に主体的に取り組む姿勢を身につけている。（グローバルかつ地域社会への関心、問題解決に取り組む態度、問題解決に必要な知識・スキル修得への意欲）</p> <p>■技能・表現</p> <p>[DP5] ビジネス・パーソンとして活躍するための前提となるコミュニケーション能力と ICT 活用能力を身につけている。（コミュニケーションおよび情報に関するリテラシー）</p>

教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：「SETSUNAN UNIVERSITY GUIDE BOOK  
2020（大学案内）」（刊行本）（入手方法：電話・HPから資料請求）  
<https://www.setsunan.ac.jp/aboutus/policy/keiei/keiei.html>）

（概要）カリキュラム・ポリシー（CP：教育課程編成・実施の方針）ディプロマ・ポリシーに掲げる目標を達成するため、次のとおり教育課程を編成・実施します。

■知識・理解

① 企業社会で活躍し、また貢献・奉仕することができる幅広い教養とグローバルな視野をもつビジネス・パーソンを育成するため、外国語・数学などの基礎科目、人文系・社会系・自然系・地域志向系・教養特別科目の5つの系から構成される教養科目、卒業後の人生設計を念頭におき大学4年間で修得すべきキャリア形成科目および企業経営に密接に関連する法律科目群を配置する。

② 経営学および会計/ファイナンスに関する専門知識をステップアップ的に修得するため、1年次から2年次にかけて専門基礎科目群を、（1）企業経営コースおよび（2）会計/ファイナンスコースのいずれかのコースを選択する2年次からは各コース固有科目群を、3年次からをそれぞれ専門科目として配置する。

■思考・判断

③ 問題発見能力、情報の収集・選別・分析力を身につけるため、1年次から2年次にかけて専門基礎科目群、2年次からは企業経営コースおよび会計/ファイナンスコースに関する各コース固有科目群をそれぞれ専門科目として配置する。

④ 企業経営の意思決定に際して必要となる思考力・判断力・実践力を身につけるため、3年次から理論科目との双方向での同時学修を念頭においた応用・実践科目群を専門科目として配置する。

■関心・意欲・態度

⑤ 社会規範を順守し、また多様性が理解でき、協調性とリーダーシップといった資質を身につけるため、法律科目群および少人数で行われる「演習Ⅰ」、「演習Ⅱ」、「卒業研究」を配置する。

⑥ 常に企業社会に関心の目を向け、課題解決に自ら進んで取り組み、また課題解決に必要な知識とスキルの修得に意欲をもやす態度・姿勢を身につけるため、少人数で行われる「演習Ⅰ」、「演習Ⅱ」、「卒業研究」を配置する。

■技能・表現

⑦ 企業活動において必須なコミュニケーション能力と情報に関するリテラシーを修得するため、少人数で行われる「演習Ⅰ」、「演習Ⅱ」、「卒業研究」を配置する。

入学者の受入れに関する方針（公表方法：「SETSUNAN UNIVERSITY GUIDE BOOK 2020  
（大学案内）」（刊行本）（入手方法：電話・HP から資料請求）  
<https://www.setsunan.ac.jp/aboutus/policy/keiei/keiei.html>）

（概要）アドミッション・ポリシー（AP：入学者受入れの方針）本学科のディプロマ・ポリシーおよびカリキュラム・ポリシーを理解し、次に掲げる知識・技能・意欲などを備え、入学後は学修・課外活動に主体的に取り組む人を求めます。

**知識・理解**

① 経営学部で学ぶ諸科目を修得するために必要な基礎的教養・知識である「国語」、「英語」、「地理歴史」、「公民」、「数学」などの高等学校の教育課程を幅広く修得している。

**■思考・判断**

② 「国語」、「英語」の読解力に基づいて、論理的に思考・分析し、その結果を解釈する基礎的能力を有している。

③ 「数学」の解析力に基づいて、論理的に思考・分析し、その結果を解釈する基礎的能力を有している。

**■関心・意欲・態度**

④ 「地理歴史」、「公民」の学修を通じて、現代の企業が抱える多様な諸課題に関心を持ち、経営に関する専門知識と情報スキルの向上に意欲があり、その目標達成に向け、自ら進んで学修することができる。

⑤ 課外活動やボランティア活動に、他者と協働して、主体的に取り組んだ経験がある。

⑥ ディプロマ・ポリシーを理解し、本学科への入学を強く希望している。

**■技能・表現**

⑦ 他者との交流を通じて自分自身を成長させることのできるコミュニケーション能力を有している。

⑧ 取得した資格やスポーツの経験などを通じて特定の分野において自慢できる能力や技能を有している。

入学者選抜の実施にあたっては、学力試験、適性検査をはじめとして、大学入試センター試験、面接、学修計画書、小論文、高等学校調査書、英語ほかの資格検定試験の結果などを入試毎に組み合わせて評価します。

学部等名 経営学部 経営情報学科
教育研究上の目的（公表方法：「SETSUNAN UNIVERSITY GUIDE BOOK 2020（大学案内）」 （刊行本）（入手方法：電話・HP から資料請求） <a href="https://www.setsunan.ac.jp/aboutus/policy/keiei/joho.html">https://www.setsunan.ac.jp/aboutus/policy/keiei/joho.html</a>
（概要）企業経営に関する情報の収集、分析、活用のための知識と技能を身につけるとともに、幅広い教養を合わせ持ち、自律的・主体的に企業経営の一翼を担うことのできる実行力ある知的専門職業人を養成する。
卒業の認定に関する方針（公表方法：「SETSUNAN UNIVERSITY GUIDE BOOK 2020（大学案内）」（刊行本）（入手方法：電話・HP から資料請求） <a href="https://www.setsunan.ac.jp/aboutus/policy/keiei/joho.html">https://www.setsunan.ac.jp/aboutus/policy/keiei/joho.html</a>
<p>（概要）ディプロマ・ポリシー（DP：卒業認定・学位授与の方針）本学科の課程を修め、所定の単位を修得したうえで、次の要件を満たした者に学士（経営学）の学位を授与します。</p> <p>知識・理解</p> <p>[DP1] 社会人として必要な教養と知的専門職業人として活躍するための基盤となるマーケティング・経営情報技術などの経営諸科学に関する基礎知識を身につけている。（一般教養・基礎的経営専門知識）</p> <p>■ 思考・判断</p> <p>[DP2] 企業を含む組織における一連の意思決定プロセスにおいて必要となる、</p> <p>① 問題発見能力</p> <p>② 問題解決に向け必要となる情報の収集・選別・分析力</p> <p>③ それらを踏まえた計画の立案と実施に係る思考力・判断力・実践力を身につけている。（問題発見能力、情報の収集力と分析力、実践力）</p> <p>■ 関心・意欲・態度</p> <p>[DP3] 社会・組織の規範を守り、組織の一員として主体的かつ協働して組織の価値向上に努める態度と意欲を身につけている。（社会規範、多様性の理解、チームワークとリーダーシップ）</p> <p>[DP4] 企業を含む組織が直面する問題に関心をもち、それらの問題解決に主体的に取り組む姿勢を身につけている。（グローバルかつ地域社会への関心、問題解決に取り組む態度、問題解決に必要な知識・スキル修得への意欲）</p> <p>■ 技能・表現</p> <p>[DP5] ビジネス・パーソンとして活躍するための前提となるコミュニケーション能力と ICT 活用能力を身につけている。（コミュニケーションおよび情報に関するリテラシー）</p>

教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：「SETSUNAN UNIVERSITY GUIDE BOOK  
2020（大学案内）」（刊行本）（入手方法：電話・HP から資料請求）  
<https://www.setsunan.ac.jp/aboutus/policy/keiei/joho.html>）

（概要）カリキュラム・ポリシー（CP：教育課程編成・実施の方針）ディプロマ・  
ポリシーに掲げる目標を達成するため、次のとおり教育課程を編成・実施します。

**知識・理解**

① 企業社会で活躍し、また貢献・奉仕することができる幅広い教養とグローバルな視野をもつビジネス・パーソンを育成するため、外国語・数学などの基礎科目、人文系・社会系・自然系・地域志向系・教養特別科目の5つの系から構成される教養科目、卒業後の人生設計を念頭におき大学4年間で修得すべきキャリア形成科目および企業経営に密接に関連する法律科目群を配置する。

② マーケティングおよびビジネス IT に関する専門知識をステップアップ的に修得するため、1年次から2年次にかけて専門基礎科目群を、（1）マーケティングコースおよび（2）ビジネス IT コースのいずれかのコースを選択する2年次からは各コース固有科目群を、3年次からをそれぞれ専門科目として配置する。

**■思考・判断**

③ 問題発見能力、情報の収集・選別・分析力を身につけるため、1年次から2年次にかけて専門基礎科目群、2年次からはマーケティングコースおよびビジネス IT コースに関する各コース固有科目群をそれぞれ専門科目として配置する。

④ 企業経営の意思決定に際して必要となる思考力・判断力・実践力を身につけるため、3年次から理論科目との双方向での同時学修を念頭においた応用・実践科目群を専門科目として配置する。

**■関心・意欲・態度**

⑤ 社会規範を順守し、また多様性が理解でき、協調性とリーダーシップといった資質を身につけるため、法律科目群および少人数で行われる「演習Ⅰ」、「演習Ⅱ」、「卒業研究」を配置する。

⑥ 常に企業社会に関心の目を向け、課題解決に自ら進んで取り組み、また課題解決に必要な知識とスキルの修得に意欲をもやす態度・姿勢を身につけるため、少人数で行われる「演習Ⅰ」、「演習Ⅱ」、「卒業研究」を配置する。

**■技能・表現**

⑦ 企業活動において必須なコミュニケーション能力と情報に関するリテラシーを修得するため、少人数で行われる「演習Ⅰ」、「演習Ⅱ」、「卒業研究」を配置する。

入学者の受入れに関する方針（公表方法：「SETSUNAN UNIVERSITY GUIDE BOOK 2020  
（大学案内）」（刊行本）（入手方法：電話・HP から資料請求）  
<https://www.setsunan.ac.jp/aboutus/policy/keiei/joho.html>）

（概要）アドミッション・ポリシー（AP：入学者受入れの方針）本学科のディプロマ・ポリシーおよびカリキュラム・ポリシーを理解し、次に掲げる知識・技能・意欲などを備え、入学後は学修・課外活動に主体的に取り組む人を求めます。

**知識・理解**

① 経営学部で学ぶ諸科目を修得するために必要な基礎的教養・知識である「国語」、「英語」、「地理歴史」、「公民」、「数学」などの高等学校の教育課程を幅広く修得している。

**■思考・判断**

② 「国語」、「英語」の読解力に基づいて、論理的に思考・分析し、その結果を解釈する基礎的能力を有している。

③ 「数学」の解析力に基づいて、論理的に思考・分析し、その結果を解釈する基礎的能力を有している。

**■関心・意欲・態度**

④ 「地理歴史」、「公民」の学修を通じて、現代の企業が抱える多様な諸課題に関心を持ち、経営に関する専門知識と情報スキルの向上に意欲があり、その目標達成に向け、自ら進んで学修することができる。

⑤ 課外活動やボランティア活動に、他者と協働して、主体的に取り組んだ経験がある。

⑥ ディプロマ・ポリシーを理解し、本学科への入学を強く希望している。

**■技能・表現**

⑦ 他者との交流を通じて自分自身を成長させることのできるコミュニケーション能力を有している。

⑧ 取得した資格やスポーツの経験などを通じて特定の分野において自慢できる能力や技能を有している。

入学者選抜の実施にあたっては、学力試験、適性検査をはじめとして、大学入試センター試験、面接、学修計画書、小論文、高等学校調査書、英語ほかの資格検定試験の結果などを入試毎に組み合わせて評価します。



学部等名 理工学部生命科学科
教育研究上の目的（公表方法：「SETSUNAN UNIVERSITY GUIDE BOOK 2020（大学案内）」 （刊行本）（入手方法：電話・HP から資料請求） <a href="https://www.setsunan.ac.jp/aboutus/policy/rikogaku/seimei.html">https://www.setsunan.ac.jp/aboutus/policy/rikogaku/seimei.html</a> ）
（概要）バイオに関する高度な知識と技術を持ち、生命機構の真理の追究により、人が健康で安全な生活を営むための医療や食品や環境に関する分野で活躍する基礎研究者および研究開発従事者を養成することを目的とする。さらに、創薬科学、医療科学、環境衛生科学などの分野を教育研究することで、人の健康および自然環境との共生を実現するための実践的な技術を身につけた人材を養成する。
卒業の認定に関する方針（公表方法：「SETSUNAN UNIVERSITY GUIDE BOOK 2020（大学案内）」（刊行本）（入手方法：電話・HP から資料請求） <a href="https://www.setsunan.ac.jp/aboutus/policy/rikogaku/seimei.html">https://www.setsunan.ac.jp/aboutus/policy/rikogaku/seimei.html</a> ）
（概要）ディプロマ・ポリシー（DP：卒業認定・学位授与の方針）本学科の課程を修め、所定の単位を修得したうえで、次の要件を満たした者に学士（理学）の学位を授与します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 科学技術教養            [DP-I] 知的専門職業人にふさわしい科学技術の幅広い分野に関する基礎知識を有する。</li> <li>■ 人文社会教養            [DP-II] 人間性豊かな社会人・家庭人として必要な人文社会系の基礎知識を有する。</li> <li>■ 科学技術者倫理            [DP-III] 国際理解・協調と国家・地域社会への貢献の重要性を理解している。また、知的専門職業人にふさわしく、規範やマナーを遵守し、技術者としての倫理観に従った判断ができる。</li> <li>■ 数理能力            [DP-IV] 数学、科学、情報処理の基礎知識を身につけ、課題に対して定量的に解を求めるなど、実務に応用できる基礎能力を有する。</li> <li>■ 専門知識            [DP-V1]（生物系コース）            遺伝子組換え技術を使って病気の機構の解析や高次構造に基づく医薬品の開発など、医療に関連する分野で活躍するための知識を修得している。            [DP-V2]（環境系コース）            人々の健康をおびやかす環境汚染物質の分析・防除の分野や、食の安心安全分野で活躍するための知識を修得している。</li> <li>■ コミュニケーション力            [DP-VI] 日本語による記述力、コミュニケーションやプレゼンテーションなど</li> </ul>

の対人能力を有する。また、英語では基礎的読解力など、コミュニケーションのための基礎力を有する。

■学習習慣

[D P-VII] 課題解決や目標達成のために、自主的に情報収集を行い、自ら学習することができる。

■課題解決能力

[D P-VIII] 自ら課題を発見することができ、計画的に解を見つけることができる。チームの課題では、さらに自らの役割を理解して、チームワークを発揮して解を見つけることができる。

教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：「SETSUNAN UNIVERSITY GUIDE BOOK 2020（大学案内）」（刊行本）（入手方法：電話・HPから資料請求）  
<https://www.setsunan.ac.jp/aboutus/policy/rikogaku/seimei.html>）

（概要）カリキュラム・ポリシー（C P：教育課程編成・実施の方針）ディプロマ・ポリシーに掲げる目標を達成するため、次のとおり教育課程を編成・実施します。

I 知的専門職業人にふさわしい科学技術の幅広い分野に関する基礎知識を身につけるため、教養科目・社会を知る教養群の科学技術教養系「科学技術教養 R1」などの科目を配置する。

II 人間性豊かな社会人・家庭人として必要な人文社会系の基礎知識を身につけるため、教養科目・自分を知る教養群の人文系「古典文学から学ぶ」、社会を知る教養群の社会科学系「日本の政治」などの科目を配置する。

III 国際理解・協調と国家・地域社会への貢献の重要性を認識するため、また知識専門職業人にふさわしく、規範やマナーを遵守し、倫理観に従った技術者としての素養を身につけるため、専門科目・共通コア群の生命科学系「生命科学と倫理」、少人数教育群のゼミ系「研究基礎演習」、「卒業研究」などの科目を配置する。

IV 数学、科学、情報処理の基礎知識を有し、課題に対して定量的に解を求めるなどの実務に応用できる基礎能力を身につけるため、専門科目・専門基礎群の「生物統計学」、「情報リテラシー」、少人数教育群の実験実習系「生命科学データベース論・演習」などの科目を配置する。

V（生物系コース）

生命科学や創薬科学分野の開発研究に関する知識と技術を身につけるため、専門科目・生物系専門コア群の分子生物系「遺伝子工学」、生物機能情報系「構造生物学」などの科目を配置する。

（環境系コース）

環境や衛生・食品分野の研究や分析に関する知識と技術を身につけるため、専門科目・環境系専門コア群の環境保全系「地球環境学」、環境科学系「公衆衛生学」などの科目を配置する。

VI 日本語による記述力、コミュニケーションやプレゼンテーション等の対人能力

を身につけるため、専門科目・少人数教育群のゼミ系「基礎演習Ⅰ」、「研究基礎演習」、「卒業研究」等の科目を配置する。また、英語の基礎読解力や英語によるコミュニケーションの基礎力を身につけるため、教養科目の語学系「基礎英語Ⅰa」、「技術英語」、専門科目・少人数教育群のゼミ系「基礎演習Ⅱ」、「卒業研究」などの科目を配置する。

VII 自主的に情報収集を行い、自ら学習する習慣を身につけるため、専門科目・少人数教育群のゼミ系「基礎演習Ⅰ」、「基礎演習Ⅱ」、「研究基礎演習」、「卒業研究」などの科目を配置する。

VIII 自ら課題を発見し、計画的に解を見つける能力を身につけるため、またチームによる課題では、自らの役割を理解して、チームワークを発揮して解を見つける能力を養うため、専門科目・少人数教育群のゼミ系「基礎演習Ⅰ」、「基礎演習Ⅱ」、「研究基礎演習」、「卒業研究」などの科目を配置する。

入学者の受入れに関する方針（公表方法：「SETSUNAN UNIVERSITY GUIDE BOOK 2020（大学案内）」（刊行本）（入手方法：電話・HPから資料請求）  
<https://www.setsunan.ac.jp/aboutus/policy/rikogaku/seimei.html>）

（概要）アドミッション・ポリシー（AP：入学者受入れの方針）本学科のディプロマ・ポリシーおよびカリキュラム・ポリシーを理解し、次に掲げる知識・技能・意欲などを備え、入学後は学修・課外活動に主体的に取り組む人を求めます。

■知識・理解

- ①高校までの生物または化学の基礎知識を身につけている。
- ②高校までの国語または英語の基礎知識を身につけている。

■思考・判断

- ③問いに対して筋道を立てて思考し、解答を得ることができる。

■関心・意欲・態度

- ④生物や生命現象に興味を有している。
- ⑤勉学や課外活動で主体的に活動した経験を有する。

■技能・表現

- ⑥口頭または文章によって意見を表現し相手に伝えることができる。

入学者選抜の実施にあたっては、学力試験、適性検査をはじめとして、大学入試センター試験、面接、学修計画書、小論文、高等学校調査書、英語ほかの資格検定試験の結果などを入試毎に組み合わせて評価します。

学部等名 理工学部住環境デザイン学科
教育研究上の目的（公表方法：「SETSUNAN UNIVERSITY GUIDE BOOK 2020（大学案内）」 （刊行本）（入手方法：電話・HP から資料請求） <a href="https://www.setsunan.ac.jp/aboutus/policy/rikogaku/jukankyo.html">https://www.setsunan.ac.jp/aboutus/policy/rikogaku/jukankyo.html</a> ）
（概要）住宅や身の回りの生活を取り巻く多様なデザイン領域に関する知識と技術を修得し、地球環境を含めた広範な人間の住環境に存在する様々な問題点を的確に捉える能力を養う。さらに、これらの問題点の解決方法を提案するためのデザイン感性と実践的技術を修得し、持続可能な生活環境と倫理観を持って創造することができる技術者やデザイナーとなる人材を養成する。
卒業の認定に関する方針（公表方法：「SETSUNAN UNIVERSITY GUIDE BOOK 2020（大学案内）」（刊行本）（入手方法：電話・HP から資料請求） <a href="https://www.setsunan.ac.jp/aboutus/policy/rikogaku/jukankyo.html">https://www.setsunan.ac.jp/aboutus/policy/rikogaku/jukankyo.html</a> ）
（概要）ディプロマ・ポリシー（DP：卒業認定・学位授与の方針）本学科の課程を修め、所定の単位を修得したうえで、次の要件を満たした者に学士（工学）の学位を授与します。 <p>■人文社会教養</p> <p>[DP-A] 人文・社会科学系教養：語学、社会学、経済学、哲学、文学、歴史学などの多様な人文・社会科学系授業科目の学習により、地球的視点による人間や自然、社会に対する幅広い視野の教養と倫理観を身につけている。</p> <p>■数理能力</p> <p>[DP-B] 数学・自然科学系教養：数学・自然科学授業科目および情報技術の基礎の学習により、専門知識の理解をより深めるための教養を身につけている。</p> <p>■科学技術者倫理</p> <p>[DP-C] 住環境デザインに関わる基礎的知識・技術者倫理（専門コア群共通系の学習）：住環境デザインの基礎となる考え方や建築法規を学習し、住環境に関わる技術者としての倫理観や責任感を身につけている。</p> <p>■専門実践力</p> <p>[DPP-D] 住空間を対象とする環境技術と構造技術（専門コア群環境デザイン系の知識）：室内・建築・都市といった住空間の環境系および構造系の専門的技術の基礎的能力および実践的な応用力を身につけている。</p> <p>■専門実践力</p> <p>[DP-E] 住空間を対象とする計画技術（専門コア群空間デザイン系の知識）：住生活および住環境に関する歴史や意匠の知識を修得し、室内・建築・都市といった住空間を対象とする計画技術を身につけている。</p> <p>■課題解決能力 ■学習習慣</p> <p>[DP-F] 調査・分析能力・デザイン力・コミュニケーション力（少人数教育群演習系授業による実践力の育成）：演習系授業科目を通じて、住環境デザインに関</p>

する調査、分析の方法を学習し、課題解決力、デザイン力、コミュニケーション力、自主学習力、計画推進力、チームワーク力を身につけている。

■コミュニケーション力 ■チームワーク力 ■学習習慣

[D P-G] 人間力・統合力（少人数教育群ゼミ系授業による人間力・統合力の育成）：専門ゼミ・卒業研究を通じて、住環境デザインに関する様々な知識の再構築を図り、デザイン力、コミュニケーション力、自主学習力、計画推進力、チームワーク力を養い、人間力と統合力を身につけている。

教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：「SETSUNAN UNIVERSITY GUIDE BOOK 2020（大学案内）」（刊行本）（入手方法：電話・HP から資料請求）  
<https://www.setsunan.ac.jp/aboutus/policy/rikogaku/jukankyo.html>）

（概要）カリキュラム・ポリシー（C P：教育課程編成・実施の方針）ディプロマ・ポリシーに掲げる目標を達成するため、次のとおり教育課程を編成・実施します。

A 地球的視点による人間や自然、社会に対する幅広い視野の教養と倫理観を身につけるため、「基礎英語Ⅰ」から始まる語学系9科目、「古典文学から学ぶ」など人文系10科目、これにスポーツ系3科目からなる「自分を知る教養群」及び「日本の政治」など法律・政治・経済分野の社会科学系10科目、「地域と私」など地域問題や文化など地域志向系6科目などからなる「社会を知る教養科目群」による多様な人文・社会科学系の科目を配置する。

B 専門知識の理解をより深めるための教養を身につけるため、「基礎数学演習」、「微積分Ⅰ・Ⅱ」、「線形代数Ⅰ・Ⅱ」などかなる数学系12科目、「物理学基礎演習」、「物理学」、「力学」などからなる科学系6科目、「情報リテラシーⅠ・Ⅱ」からなる情報系2科目などの数学・自然科学及び情報技術基礎の科目を配置する。[専門基礎群]

C 住環境に関わる基礎的な知識やデザイン技能について幅広く学び、住環境デザインの基礎となる考え方や建築法規の学習から住環境に関わる技術者としての倫理観や責任感を身につけるため、「住環境デザイン概論」、「図形科学」、「居住安全計画」、「プロダクトデザイン論」、「建築法規」、「住環境倫理」の6科目を配置する。[専門コア群(共通系)]

D 室内・建築・都市といった住空間の環境系の専門的技術の基礎的能力および実践的な応用力を身につけるため、環境系については、「住環境工学A・B」、「住環境設備A・B」、「都市環境計画」を配置する。

室内・建築・都市といった住空間の構造系の専門的技術の基礎的能力および実践的な応用力を身につけるため、構造系については、「構造力学Ⅰ・Ⅱ」、「建築一般構造学」、「構造デザイン論」、「住環境材料学」、「住宅生産学」を配置する。  
[専門コア群(環境デザイン系)]

E 住生活および住環境に関する歴史や意匠の知識を修得し、室内・建築・都市といった住空間を対象とする計画技術を身につけるため、住生活・計画系については、

「住生活学」、「住居計画学」や「建築計画学」など6科目、歴史・意匠系については「近代デザイン史」、「日本建築史」、「建築空間論」など5科目を配置する。

[専門コア群(空間デザイン系)]

F 住環境デザインに関する調査、分析の方法を学習し、課題解決力、デザイン力、コミュニケーション力、自主学習力、計画推進力、チームワーク力を身につけるため、「基礎設計演習」から始まる設計演習5科目、「インテリアデザイン演習」や「プロダクトデザイン演習」などの空間デザイン系演習7科目及び「空間表現演習A・B」、「環境工学演習」や「構造デザイン演習」などの環境デザイン系演習8科目を配置する。[少人数教育群(演習系)]

G 住環境デザインに関する様々な知識の統合化を図り、デザイン力、コミュニケーション力、自主学習力、計画推進力、チームワーク力を鍛え、自分の考え方をしっかりと持ちつつ、他者の言葉にも耳を傾け、様々な課題に対してポジティブな提案ができるような人間力、統合力を涵養するため、「ゼミA・B・C・D」、「卒業研究」を配置する。[少人数教育群(ゼミ系)]

入学者の受入れに関する方針（公表方法：「SETSUNAN UNIVERSITY GUIDE BOOK 2020（大学案内）」（刊行本）（入手方法：電話・HPから資料請求）  
<https://www.setsunan.ac.jp/aboutus/policy/rikogaku/jukankyo.html>）

（概要）アドミッション・ポリシー（AP：入学受入れの方針）本学科のディプロマ・ポリシーおよびカリキュラム・ポリシーを理解し、次に掲げる知識・技能・意欲などを備え、入学後は学修・課外活動に主体的に取り組む人を求めます。

■知識・理解

- ①高校までの数学または理科（物理、化学）の基礎知識を身につけている。
- ②高校までの国語または英語の基礎知識を身につけている。

■思考・判断

- ③問いに対して筋道を立てて思考し、解答を得ることができる。

■関心・意欲・態度

- ④住環境デザイン分野に関する興味を有している。
- ⑤勉学や課外活動で主体的に活動した経験を有する。

■技能・表現

- ⑥口頭または文章によって意見を表現し相手に伝えることができる。
- ⑦デッサンなどの描画または立体造形などの制作によって意見を表現し相手に伝えることができる。

入学選抜の実施にあたっては、学力試験、適性検査をはじめとして、大学入試センター試験、面接、学修計画書、小論文、高等学校調査書、英語ほかの資格検定試験の結果などを入試毎に組み合わせて評価します。

学部等名 理工学部建築学科
教育研究上の目的（公表方法：「SETSUNAN UNIVERSITY GUIDE BOOK 2020（大学案内）」 （刊行本）（入手方法：電話・HP から資料請求） <a href="https://www.setsunan.ac.jp/aboutus/policy/rikogaku/kenchiku.html">https://www.setsunan.ac.jp/aboutus/policy/rikogaku/kenchiku.html</a> ）
（概要）地球環境を含めた広範な人間の生活環境に対する的確な問題意識を持ち、生活基盤となる建築・都市空間の安全性、機能性、審美性の追究と、社会や環境への適切な配慮のできる包括的な知識と技能、さらには倫理観を持った建築設計および建築生産などにかかわる技術者を養成する。
卒業の認定に関する方針（公表方法：「SETSUNAN UNIVERSITY GUIDE BOOK 2020（大学案内）」（刊行本）（入手方法：電話・HP から資料請求） <a href="https://www.setsunan.ac.jp/aboutus/policy/rikogaku/kenchiku.html">https://www.setsunan.ac.jp/aboutus/policy/rikogaku/kenchiku.html</a> ）
<p>（概要）ディプロマ・ポリシー（DP：卒業認定・学位授与の方針）本学科の課程を修め、所定の単位を修得したうえで、次の要件を満たした者に学士（工学）の学位を授与します。</p> <p>■科学技術教養 ■人文社会教養</p> <p>〔DP-A〕工学技術者として求められる幅広い視野と教養を身につけ、社会の抱える問題を説明できる。</p> <p>■科学技術者倫理</p> <p>〔DP-B〕技術が人間社会や自然に与える影響、および建築・都市工学技術者の果たすべき役割について学び、倫理的に判断できる。</p> <p>■コミュニケーション力</p> <p>〔DP-C〕語学教育により国内外の文献や資料から幅広い知識を獲得でき、また建築・都市工学技術者として日本語および外国語を用いたコミュニケーションができる。</p> <p>■数理能力</p> <p>〔DP-D〕建築・都市工学技術者として必要な専門知識の理解を深めるために、数学や物理学などの基礎的な考え方が説明でき、それらを応用できる。</p> <p>■課題解決能力</p> <p>〔DP-E〕建築・都市工学技術者に求められる空間表現と情報処理技術を学び効果的にプレゼンテーションができる。</p> <p>■専門実践力</p> <p>〔DP-F〕建築・都市計画に必要な、計画・意匠・歴史・環境に関する基礎的な考え方が説明でき、それらを応用できる。</p> <p>■課題解決能力</p> <p>〔DP-G〕建築・都市の問題点と課題の抽出方法および改善提案に結びつく調査・分析方法を学び、チームワーク力を発揮して社会の問題を解決するためのデザインを提案できる。</p>

■ 専門実践力

[D P-H] 建築構造設計および施工管理に関する建築材料、構造設計および施工管理の基礎的な考え方が説明でき、それらを応用できる。

教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：「SETSUNAN UNIVERSITY GUIDE BOOK 2020（大学案内）」（刊行本）（入手方法：電話・HP から資料請求）  
<https://www.setsunan.ac.jp/aboutus/policy/rikogaku/kenchiku.html>）

（概要）カリキュラム・ポリシー（C P：教育課程編成・実施の方針）ディプロマ・ポリシーに掲げる目標を達成するため、次のとおり教育課程を編成・実施します。

- A 知的専門職業人にふさわしい科学技術の幅広い分野に関する基礎知識を身につけるため、教養科目・社会を知る教養群の科学技術教養系「科学技術教養 R1」などの科目を配置する。
- B 技術が人間社会や自然に与える影響、および建築・都市工学技術者の果たすべき役割について学び、倫理的に判断できる技術者としての素養を身につけるため、専門科目「建築法規」、「建築倫理」などの科目を配置する。
- C 国内外の文献や資料から幅広い知識を獲得でき、また建築・都市工学技術者として日本語および外国語を用いたコミュニケーション能力を身につけるため、教養科目・語学系「基礎英語 I a」、「実践英語入門」などの科目を配置する。
- D 建築・都市工学技術者として必要な専門知識の理解を深めるために、数学や物理学などの基礎的な考え方が説明でき、それらを応用できる能力を身につけるため、専門科目・専門基礎群などの科目を配置する。
- E 建築・都市工学技術者に求められる空間表現と情報処理技術を学び効果的にプレゼンテーションができる能力を身につけるため、専門科目「情報リテラシー I」、「建築情報処理基礎」などの科目を配置する。
- F 建築・都市計画に必要な、計画・意匠・歴史・環境に関する基礎的な考え方が説明でき、それらを応用できる能力を身につけるため、専門科目「建築計画基礎」、「建築環境工学 I」、「設計演習 I」などの科目を配置する。
- G 建築・都市の問題点と課題の抽出方法および改善提案に結びつく調査・分析方法を学び、チームワーク力を発揮して社会の問題を解決するためのデザインを提案できる能力を養うため、専門科目「建築ゼミ I」、「卒業研究」などの科目を配置する。
- H 建築構造設計および施工管理に関する建築材料、構造設計および施工管理の基礎的な考え方が説明でき、それらを応用できる能力を身につけるため、専門科目「構造力学 I」、「建築材料 I」などの科目を配置する。

入学者の受入れに関する方針（公表方法：「SETSUNAN UNIVERSITY GUIDE BOOK 2020（大学案内）」（刊行本）（入手方法：電話・HP から資料請求）  
<https://www.setsunan.ac.jp/aboutus/policy/rikogaku/kenchiku.html>）



(概要) アドミッション・ポリシー (AP: 入学者受入れの方針) 本学科のディプロマ・ポリシーおよびカリキュラム・ポリシーを理解し、次に掲げる知識・技能・意欲などを備え、入学後は学修・課外活動に主体的に取り組む人を求めます。

■知識・理解

- ①高校までの数学、物理の基礎知識を身につけている。
- ②高校までの国語または英語の基礎知識を身につけている。

■思考・判断

- ③問いに対して筋道を立てて思考し、解答を得ることができる。

■関心・意欲・態度

- ④建築・都市分野に関する興味を有している。
- ⑤勉学や課外活動で主体的に活動した経験を有する。

■技能・表現

- ⑥口頭または文章によって意見を表現し相手に伝えることができる。
- ⑦2級建築施工管理技士(学科試験)や建築CAD検定(3級)などの資格を取得している。または、それらに繋がる技能などを有している。

入学者選抜の実施にあたっては、学力試験、適性検査をはじめとして、大学入試センター試験、面接、学修計画書、小論文、高等学校調査書、英語ほかの資格検定試験の結果などを入試毎に組み合わせて評価します。

学部等名 理工学部都市環境工学科
教育研究上の目的（公表方法：「SETSUNAN UNIVERSITY GUIDE BOOK 2020（大学案内）」 （刊行本）（入手方法：電話・HP から資料請求） <a href="https://www.setsunan.ac.jp/aboutus/policy/rikogaku/toshikankyo.html">https://www.setsunan.ac.jp/aboutus/policy/rikogaku/toshikankyo.html</a> ）
（概要）複雑化・高機能化した都市環境を建設・維持管理・リニューアルするハード面の技術と環境に配慮した都市計画を立案するソフト面の技術を修得し、実践的な技術を身につけた即戦力として活躍できる専門職業人を養成する。
卒業の認定に関する方針（公表方法：「SETSUNAN UNIVERSITY GUIDE BOOK 2020（大学案内）」（刊行本）（入手方法：電話・HP から資料請求） <a href="https://www.setsunan.ac.jp/aboutus/policy/rikogaku/toshikankyo.html">https://www.setsunan.ac.jp/aboutus/policy/rikogaku/toshikankyo.html</a> ）
（概要）ディプロマ・ポリシー（DP：卒業認定・学位授与の方針）本学科の課程を修め、所定の単位を修得したうえで、次の要件を満たした者に学士（工学）の学位を授与します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>■科学技術教養            [DP-I] 知的専門職業人にふさわしい科学技術の幅広い分野に関する基礎知識を有する。</li> <li>■人文社会教養            [DP-II] 人間性豊かな社会人、家庭人として必要な人文社会系の基礎知識を有する。</li> <li>■科学技術者倫理            [DP-III] 国際理解・協調と国家・地域社会への貢献の重要性を理解している。また、知的専門職業人にふさわしく、規範やマナーを遵守し、技術者としての倫理観に従った判断ができる。</li> <li>■数理能力            [DP-IV] 数学、科学、情報処理の基礎知識を身につけ、課題に対して定量的に解を求めるなど、実務に応用できる基礎能力を有する。</li> <li>■環境認識            [DP-V1] 地球環境や地域環境の保全に関し、社会や時代の要請に応えられる知識と環境意識を有する。</li> <li>■計測・測量技術            [DP-V2] 現場技術者に共通の基盤となる測量および計測・計量の基礎を有する。</li> <li>■専門知識            [DP-V3] &lt;都市建設コース&gt;            構造工学、建設材料、地盤工学などの専門基礎知識を有し、設計・施工の実務に活用することができる。            &lt;環境計画コース&gt;            都市計画や交通計画、環境計画、衛生工学などの専門基礎知識を有し、計画・環境</li> </ul>

の実務に活用することができる。

<都市環境総合コース>

構造、建設材料、地盤、水工、計画、環境、衛生の幅広い専門基礎知識を有し、計画・設計・施工の実務に活用することができる。

■コミュニケーション力

[D P-VI] 日本語による記述力、コミュニケーションやプレゼンテーションなどの対人能力を有する。また、英語では基礎的読解力など、コミュニケーションのための基礎力を有する。

■学習習慣

[D P-VII] 課題解決や目標達成のために、自主的に情報収集を行い、自ら学習することができる。

■課題解決能力

[D P-VIII] 自ら課題を発見することができ、計画的に解を見つけることができる。チームの課題では、さらに自らの役割を理解して、チームワークを発揮して解を見つけることができる。

教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：「SETSUNAN UNIVERSITY GUIDE BOOK 2020（大学案内）」（刊行本）（入手方法：電話・HP から資料請求）  
<https://www.setsunan.ac.jp/aboutus/policy/rikogaku/toshikankyo.html>）

（概要）カリキュラム・ポリシー（C P：教育課程編成・実施の方針）ディプロマ・ポリシーに掲げる目標を達成するため、次のとおり教育課程を編成・実施します。

I 知的専門職業人にふさわしい科学技術の幅広い分野に関する基礎知識を身につけるため、教養科目・社会を知る教養群の科学技術教養系「科学技術教養V1」などの科目を配置する。

II 人間性豊かな社会人・家庭人として必要な人文社会系の基礎知識を身につけるため、教養科目・自分を知る教養群の人文系「古典文学から学ぶ」、社会を知る教養群の社会科学系「日本の政治」などの科目を配置する。

III 国際理解・協調と国家・地域社会への貢献の重要性を認識するため、また知識専門職業人にふさわしく、規範やマナーを遵守し、倫理観に従った技術者としての素養を身につけるため、専門科目・専門コア群の倫理法規系「技術者倫理」、少人数教育群のゼミ系「都市環境基礎ゼミII」、「都市環境ゼミナール」などの科目を配置する。

IV 数学、科学、情報処理の基礎知識を有し、課題に対して定量的に解を求めるなどの実務に応用できる基礎能力を身につけるため、専門科目・専門基礎群の数学系、科学系や情報系などの科目を配置する。

V1 地球環境や地域環境の保全に関し、社会や時代の要請に応えられる知識と環境意識を養うため、専門科目・専門コア群の環境計画系「環境衛生工学I」などの科目を配置する。

V2 測量および計測・計量の基礎知識と基礎能力を身につけるため、専門科目・専門コア群の測量・実験系「測量学Ⅰ」、「建設工学実験」などの科目を配置する。

### V3 <都市建設コース>

都市建設系の専門基礎知識を設計・施工の実務に活用できるレベルまで身につけるため、専門科目・専門コア群の建設系「構造力学Ⅰ」、「地盤力学Ⅰ」などの科目を配置する。

### <環境計画コース>

環境計画系の専門基礎知識を環境・計画の実務に活用できるレベルまで身につけるため、専門科目・専門コア群の環境計画系「環境衛生工学Ⅰ」、「計画システム」などの科目を配置する。

### <都市環境総合コース>

都市建設系・環境計画系の幅広い専門基礎知識を計画・設計・施工の実務に活用できるレベルまで身につけるため、専門科目・専門コア群の建設系「構造力学Ⅰ」、環境計画系「環境衛生工学Ⅰ」などの科目を配置する。

VI 日本語による記述力、コミュニケーションやプレゼンテーション等の対人能力を身につけるため、専門科目・少数教育群の総合演習系「実践日本語演習」、ゼミ系・「都市環境基礎ゼミⅡ」、「卒業研究」などの科目を配置する。また、英語の基礎読解力や英語によるコミュニケーションの基礎力を身につけるため、教養科目・語学系「基礎英語Ⅰa」・「技術英語」などの科目を配置する。

VII 自主的に情報収集を行い、自ら学習する習慣を身につけるため、専門科目・少数教育群のゼミ系「都市環境基礎ゼミⅠ」、「卒業研究」などの科目を配置する。

VIII 自ら課題を発見し、計画的に解を見つける能力を身につけるため、またチームによる課題では、自らの役割を理解して、チームワークを発揮して解を見つける能力を身につけるため、専門科目・少数教育群のゼミ系「都市環境基礎ゼミⅡ」、「卒業研究」などの科目を配置する。

入学者の受入れに関する方針（公表方法：「SETSUNAN UNIVERSITY GUIDE BOOK 2020（大学案内）」（刊行本）（入手方法：電話・HPから資料請求）  
<https://www.setsunan.ac.jp/aboutus/policy/rikogaku/toshikankyo.html>）

（概要）アドミッション・ポリシー（AP：入学者受入れの方針）本学科のディプロマ・ポリシーおよびカリキュラム・ポリシーを理解し、次に掲げる知識・技能・意欲などを備え、入学後は学修・課外活動に主体的に取り組む人を求めます。

#### ■知識・理解

- ①高校までの数学、物理の基礎知識を身に付けている。
- ②高校までの国語または英語の基礎知識を身に付けている。

#### ■思考・判断

- ③問いに対して筋道を立てて思考し、解答を得ることができる。

#### ■関心・意欲・態度

④都市建設や環境保全に関する分野に興味を有している。

⑤勉学や課外活動で主体的に活動した経験を有する。

■技能・表現

⑥口頭または文章によって意見を表現し相手に伝えることができる。

⑦2級土木施工管理技士（学科試験）や測量士補などの都市環境に関する資格を取得している。または、それらに繋がる技能などを有している。

入学者選抜の実施にあたっては、学力試験、適性検査をはじめとして、大学入試センター試験、面接、学修計画書、小論文、高等学校調査書、英語ほかの資格検定試験の結果などを入試毎に組み合わせて評価します。

学部等名 理工学部機械工学科
教育研究上の目的（公表方法：「SETSUNAN UNIVERSITY GUIDE BOOK 2020（大学案内）」 （刊行本）（入手方法：電話・HP から資料請求） <a href="https://www.setsunan.ac.jp/aboutus/policy/rikogaku/kikai.html">https://www.setsunan.ac.jp/aboutus/policy/rikogaku/kikai.html</a> ）
（概要）人類、社会が直面する課題の解決に寄与する機械の研究開発やものづくりの基礎となる機械工学の専門知識を修得し、問題を発見し解決するための総合的な能力を身につけた実践的機械技術者を養成する。
卒業の認定に関する方針（公表方法：「SETSUNAN UNIVERSITY GUIDE BOOK 2020（大学案内）」（刊行本）（入手方法：電話・HP から資料請求） <a href="https://www.setsunan.ac.jp/aboutus/policy/rikogaku/kikai.html">https://www.setsunan.ac.jp/aboutus/policy/rikogaku/kikai.html</a> ）
<p>（概要）ディプロマ・ポリシー（DP：卒業認定・学位授与の方針）本学科の課程を修め、所定の単位を修得したうえで、次の要件を満たした者に学士（工学）の学位を授与します。</p> <p>■人文社会教養・科学技術教養 [DP-A1] エネルギー・環境問題などの人類、社会の抱えている問題を理解できる。</p> <p>■チームワーク [DP-A2] チームにおいて、それぞれの役割を担い、チームの目標を達成するために働くことができる。</p> <p>■科学技術者倫理 ■学習習慣 [DP-A3] 目的を達成するために、粘り強く、自律的に学習できるとともに倫理的な判断・行動ができる。</p> <p>■数理能力 [DP-B1] 情報技術に関する知識を持っており、それを機械システムの問題解決に応用できる。</p> <p>■コミュニケーション力 [DP-B2] 言語（日本語ならびに簡単な英語の音声および文字）と図表などを用いて確かなコミュニケーションができる。</p> <p>■専門基礎力 [DP-C1] 工学に共通する基礎的・普遍的な考えができる。</p> <p>■課題解決能力 [DP-C2] &lt;機械工学総合コース&gt; 機械工学の基礎に関する知識を持ち、それらを工学的問題の解決に応用できる。 &lt;機械生産コース&gt; 生産技術の課題解決を通して機械工学の基礎を修得している。</p> <p>■機械加工技術 [DP-D1] 工作機械を使つての機械加工ができる。</p> <p>■計測技術 [DP-D2] 各種物理量や工業量を計測できる。</p> <p>■設計製図技能 [DP-D3] 製図法を理解し、物の形を図面に表すことができる。</p> <p>■デザイン力 [DP-E1] 機能、強度、性能などを考慮して機械要素または機械システムをデザインすることができる。</p>

■実験・データ分析能力

[DP-E2] 実験（シミュレーションを含む）を計画ならびに遂行し、得られたデータを解釈することができる。

教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：「SETSUNAN UNIVERSITY GUIDE BOOK 2020（大学案内）」（刊行本）（入手方法：電話・HPから資料請求）  
<https://www.setsunan.ac.jp/aboutus/policy/rikogaku/kikai.html>）

（概要）カリキュラム・ポリシー（CP：教育課程編成・実施の方針）ディプロマ・ポリシーに掲げる目標を達成するため、次のとおり教育課程を編成・実施します。

A1 エネルギー・環境問題などの人類、社会の抱えている問題を理解するため、教養科目（自分を知る教養群の人文系、社会を知る教養群の社会科学系）、「エネルギー変換工学」などの科目を配置する。

A2 チームにおいて、それぞれの役割を担い、チームの目標を達成するために働くことができる能力を身につけるため、「機械創成基礎演習Ⅰ」「機械創成基礎演習Ⅱ」「機械創成応用演習」などの科目を配置する。

A3 目的を達成するために、粘り強く、自律的に学習できると共に倫理的な判断・行動ができる能力を身につけるため、「技術者倫理」などの科目を配置する。

B1 情報技術に関する知識を持っており、それを機械システムの問題解決に応用できる能力を身につけるため、「情報リテラシーⅠ」、「情報リテラシーⅡ」、「VBプログラミング」、「Cプログラミング」などの科目を配置する。

B2 言語（日本語ならびに簡単な英語の音声および文字）と図表などを用いて確かなコミュニケーションができる能力を身につけるため、「日本語読解」、「日本語表現」、「基礎英語Ⅰ」、「基礎英語Ⅱ」、「実践英語初級」、「実践英語中級」、「機械創成基礎演習Ⅰ」、「機械創成基礎演習Ⅱ」、「機械創成応用演習」などの科目を配置する。

C1 専門知識の理解を深めるための工学に共通する基礎的な考え方をもちそれらに応用できる能力を身につけるため、「微積分Ⅰ」、「線形代数Ⅰ」、「力学Ⅰ」、「物理学Ⅱ」、「物理学実験」などの科目を配置する。

C2 機械工学の基礎に関する知識を持ち、それらを工学的問題の解決に応用できる能力を身につけるため、専門科目（専門コア群の共通系）などの科目を配置する。

D1 工作機械を使つての機械加工ができる能力を身につけるため、「機械工作実習Ⅰ」、「機械工作実習Ⅱ」を配置する。

D2 各種物理量や工業量を計測できる能力を身につけるため、「理工学基礎実験」、「機械工学実験Ⅰ」、「機械工学実験Ⅱ」などの科目を配置する。

D3 製図法を理解し、物体を図面に表すことができる能力を身につけるため、「機械製図Ⅰ」、「機械製図Ⅱ」を配置する。

E1 機能、強度、性能などを考慮して機械要素または機械システムをデザインすることができる能力を身につけるため、「機械設計Ⅰ」、「機械設計Ⅱ」、「機械創

成応用演習」を配置する。

E2 実験（シミュレーションを含む）を計画ならびに遂行し、得られたデータを解釈することができる能力を身につけるため、「機械創成応用演習」を配置する。

入学者の受入れに関する方針（公表方法：「SETSUNAN UNIVERSITY GUIDE BOOK 2020（大学案内）」（刊行本）（入手方法：電話・HP から資料請求）  
<https://www.setsunan.ac.jp/aboutus/policy/rikogaku/kikai.html>）

（概要）アドミッション・ポリシー（A P：入学者受入れの方針）本学科のディプロマ・ポリシーおよびカリキュラム・ポリシーを理解し、次に掲げる知識・技能・意欲などを備え、入学後は学修・課外活動に主体的に取り組む人を求めます。

■知識・理解

- ①高校までの数学、物理の基礎知識を身につけている。
- ②高校までの国語または英語の基礎知識を身につけている。

■思考・判断

- ③問いに対して筋道を立てて思考し、解答を得ることができる。

■関心・意欲・態度

- ④機械やものづくりの技術に興味を有している。
- ⑤勉学や課外活動で主体的に活動した経験を有する。

■技能・表現

- ⑥口頭または文章によって意見を表現し相手に伝えることができる。
- ⑦基礎製図検定やボイラー取扱技能、ガス溶接技能などの機械工学に関する資格を取得している。または、それらに繋がる技能などを有している。

入学者選抜の実施にあたっては、学力試験、適性検査をはじめとして、大学入試センター試験、面接、学修計画書、小論文、高等学校調査書、英語ほかの資格検定試験の結果などを入試毎に組み合わせて評価します。



学部等名 理工学部電気電子工学科
教育研究上の目的（公表方法：「SETSUNAN UNIVERSITY GUIDE BOOK 2020（大学案内）」 （刊行本）（入手方法：電話・HP から資料請求） <a href="https://www.setsunan.ac.jp/aboutus/policy/rikogaku/denkidenshi.html">https://www.setsunan.ac.jp/aboutus/policy/rikogaku/denkidenshi.html</a> ）
（概要）電気電子工学と情報通信工学の幅広い技術をバランスよく修得するとともに、社会全体に対する役割を自覚し、製品開発や設計施工などの現場において課題を発見し解決できる力を持つ実践的な電気系技術者および情報通信関連技術者を養成する。
卒業の認定に関する方針（公表方法：「SETSUNAN UNIVERSITY GUIDE BOOK 2020（大学案内）」（刊行本）（入手方法：電話・HP から資料請求） <a href="https://www.setsunan.ac.jp/aboutus/policy/rikogaku/denkidenshi.html">https://www.setsunan.ac.jp/aboutus/policy/rikogaku/denkidenshi.html</a> ）
（概要）ディプロマ・ポリシー（DP：卒業認定・学位授与の方針）本学科の課程を修め、所定の単位を修得したうえで、次の要件を満たした者に学士（工学）の学位を授与します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 科学技術分野の素養            [DP-A] 電気系以外の科学技術についても幅広い基礎知識を学び、様々な自然現象を地球的視野から捉えることができる。</li> <li>■ 人文社会分野の素養            [DP-B] わが国と世界の文化、社会、歴史、思想などに関する基礎知識を学び、社会的な問題に対して多方面から考察できる。</li> <li>■ 技術者としての倫理            [DP-C] 電気系技術者としての倫理観や社会への責任、電気関連法規を理解し、説明することができる。</li> <li>■ 数理・情報処理能力            [DP-D] 専門技術の基礎となる数学や物理学を修得し、電気系技術に必要な基本的な計算ができる。また、情報処理技術を習得しパソコンなどを用いて文書やプレゼンテーション資料などを作成することができる。</li> <li>■ 実験・データ解析能力            [DP-E1] 各種の実験を計画的に遂行でき、実測したデータを解析・考察することができる。</li> <li>■ 専門知識の習得・応用能力            [DP-E2] &lt;電気電子コース&gt;            電気電子工学の専門知識を修得し、エネルギーやエレクトロニクス分野における課題解決に活用できる。            &lt;情報通信コース&gt;            情報通信工学の専門知識を修得し、情報処理やネットワーク分野における課題解決に活用できる。            &lt;電気・通信システム総合コース&gt;</li> </ul>

電気電子・情報通信工学の幅広い専門知識を修得し、電気系技術分野における課題解決に活用できる。

■デザイン能力

[D P-E3] 専門知識を用いて、与えられた課題において問題点を発見し、制約条件を考慮した解決策を見出して課題を解決できる。

■コミュニケーション能力

[D P-F] 技術的な課題について、論理的な記述、対話、発表ができる。また、技術者に必要な基礎英語や技術英語を習得し、英文の大意を理解できる。

■学習習慣とキャリア形成

[D P-G] 常に情報を収集し、自主的な学習やキャリア形成を継続的に行うことができる。

■業務推進・協働能力

[D P-H1] 与えられた制約下で計画的に作業を進め、まとめることができる。

[D P-H2] チームの目標を達成するために協力して取り組むことができる。

教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：「SETSUNAN UNIVERSITY GUIDE BOOK 2020（大学案内）」（刊行本）（入手方法：電話・HP から資料請求）  
<https://www.setsunan.ac.jp/aboutus/policy/rikogaku/denkidenshi.html>）

（概要）カリキュラム・ポリシー（C P：教育課程編成・実施の方針）ディプロマ・ポリシーに掲げる目標を達成するため、次のとおり教育課程を編成・実施します。

(A) 電気系以外の科学技術の知識を身につけるため、「理工学基礎実験」、「科学技術教養」、「産業技術史」を配置する。

(B) 日本と世界の文化・社会・歴史に関する知識を身につけ、また社会的問題を多方面から考察できる能力を身に付けるため、教養科目（自分を知る教養群の人文系、社会を知る教養群の社会科学系）、教養特別講義などの科目を配置する。

(C) 技術者としての倫理観・責任感を養うため、「技術者倫理」および「技術者への道」、「電波法規」、「電気法規及び施設管理」を配置する。

(D) 数学、物理学、情報処理技術に関する知識を身につけるため、「微積分Ⅰ」、「線形代数Ⅰ」、「電気工学基礎導入演習」などの科目を配置する。

(E1) 各種の実験を計画・遂行することができ、実測したデータを解析・説明することができる能力を身につけるため、「電気工学実験Ⅰ」、「電気工学実験Ⅱ」、「電気電子工学実験」、「情報通信工学実験」を配置する。

(E2) 電気電子・情報通信工学の幅広い専門知識を身につけるため、専門科目（専門コア群）を配置する。

(E3) 問題点の発見や制約条件下で課題解決できる能力を身につけるため、「電気工学創成演習」、「電気工学応用ゼミ」、「卒業研究」を配置する。

(F) 技術者として論理的な記述・対話・発表ができ、基礎英語や技術英語ができる能力を身につけるため、「電気工学創成演習」、「電気工学応用ゼミ」、「電気電

子工学実験」、「情報通信工学実験」、および「基礎英語（Ⅰa、Ⅰb、Ⅱa、Ⅱb）」、「実践英語（入門、初級、中級、上級）」などの科目を配置する。

(G)自主的な学習習慣を身につけ、資格取得などのキャリア形成を継続的に行うことができる能力を身につけるため、「電気工学実験（Ⅰ、Ⅱ）」、「電気工学基礎演習」等の実験系・演習系科目、そして教養科目の「インターンシップ（Ⅰ、Ⅱ）」などの科目を配置する。

(H1)与えられた制約下で仕事を計画的に進め、まとめることができる能力を身につけるため、「電気工学実験Ⅱ」、「電気工学創成演習」、「電気電子工学実験」、「情報通信工学実験」、「電気工学応用ゼミ」を配置する。

(H2)チームの目標を達成するために協力して働くことができる能力を身につけるため、「電気工学創成演習」、「電気電子工学実験」、「情報通信工学実験」、「電気工学応用ゼミ」を配置する。

入学者の受入れに関する方針（公表方法：「SETSUNAN UNIVERSITY GUIDE BOOK 2020（大学案内）」（刊行本）（入手方法：電話・HPから資料請求）  
<https://www.setsunan.ac.jp/aboutus/policy/rikogaku/denkidenshi.html>）

（概要）アドミッション・ポリシー（AP：入学者受入れの方針）本学科のディプロマ・ポリシーおよびカリキュラム・ポリシーを理解し、次に掲げる知識・技能・意欲などを備え、入学後は学修・課外活動に主体的に取り組む人を求めます。

■知識・理解

- ①高校までの数学、物理の基礎知識を身につけている。
- ②高校までの国語または英語の基礎知識を身につけている。

■思考・判断

- ③問いに対して筋道を立てて思考し、解答を得ることができる。

■関心・意欲・態度

- ④電気、電子、情報、通信関連の技術に興味を有している。
- ⑤勉学や課外活動で主体的に活動した経験を有する。

■技能・表現

- ⑥口頭または文章によって意見を表現し相手に伝えることができる。
- ⑦電気工事士などの電気、電子、情報、通信に関する資格を取得している。または、それらに繋がる技能などを有している。

入学者選抜の実施にあたっては、学力試験、適性検査をはじめとして、大学入試センター試験、面接、学修計画書、小論文、高等学校調査書、英語ほかの資格検定試験の結果などを入試毎に組み合わせて評価します。

学部等名 薬学部
<p>教育研究上の目的（公表方法：「SETSUNAN UNIVERSITY GUIDE BOOK 2020（大学案内）」（刊行本）（入手方法：電話・HP から資料請求）  <a href="https://www.setsunan.ac.jp/aboutus/policy/yakugaku/">https://www.setsunan.ac.jp/aboutus/policy/yakugaku/</a>）</p>
<p>（概要）高い倫理観、心豊かな人間性、実践的能力を備え、わが国の医療の進化、健康・福祉の増進、生活環境の保全に貢献する薬剤師を養成する。</p>
<p>卒業の認定に関する方針（公表方法：「SETSUNAN UNIVERSITY GUIDE BOOK 2020（大学案内）」（刊行本）（入手方法：電話・HP から資料請求）  <a href="https://www.setsunan.ac.jp/aboutus/policy/yakugaku/">https://www.setsunan.ac.jp/aboutus/policy/yakugaku/</a>）</p>
<p>（概要）ディプロマ・ポリシー（DP：卒業認定・学位授与の方針）本学科の課程を修め、所定の単位を修得したうえで、次の要件を満たした者に学士（薬学）の学位を授与します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■社会的責任と使命 <p>[DP 1] 医療を提供する者としての社会的責任と使命を強く自覚し、常に人々の生命、健康、尊厳を守る意思を示す。</p> </li> <li>■コミュニケーション <p>[DP 2] 情報を的確に伝達できる説明および表現能力を身につけているとともに、コミュニケーションを通じて豊かな人間関係を構築する能力を有している。</p> </li> <li>■科学の知識の活用 <p>[DP 3] 医薬品の性質を理解し、薬物治療を科学的な視点から支える。</p> </li> <li>■情報の収集と評価 <p>[DP 4] 薬物治療の実践に必要な科学に裏付けられた情報および患者からの身体的情報を収集し、評価する技能を有している。</p> </li> <li>■地域および他職種との連携 <p>[DP 5] 地域の中で、住民および他職種と連携し、健康と福祉の維持・増進、生活環境の保全、科学知識の啓蒙を司る専門家としての基本的な能力を有している。</p> </li> <li>■薬物療法における実践的能力 <p>[DP 6] 患者の様々な病態における薬物療法を総合的に評価し、医薬品の供給、調剤、服薬指導、処方設計の提案、安全性や有効性を担保するなどの薬学的管理を実践する能力を有している。</p> </li> <li>■多角的な観察と解析 <p>[DP 7] 医療の進歩の一端を担うため、多角的な視野で医療を含む自然現象を観察し、解析する基本的な能力を有している。</p> </li> <li>■生涯にわたる自己研鑽、キャリア形成と教育能力 <p>[DP 8] 医療の進歩を知り、薬剤師に対する社会の要請に応えるため、自らの適性に応じた職業を選択し、生涯にわたって自己研鑽を続け、後進を育成する意欲を有している。</p> </li> </ul>

教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：「SETSUNAN UNIVERSITY GUIDE BOOK  
2020（大学案内）」（刊行本）（入手方法：電話・HP から資料請求）  
<https://www.setsunan.ac.jp/aboutus/policy/yakugaku/>）

（概要）カリキュラム・ポリシー（C P：教育課程編成・実施の方針）ディプロマ・ポリシーに掲げる目標を達成するため、次のとおり教育課程を編成・実施します。

< 1年次 >

■ 基礎学力を補完し「8つの資質」の修得に共通する教養を得るために、薬学を学ぶうえで必須な学習を開始し、広い視野を身につけ様々な分野で活動する基盤を作るプログラムを実施する。これらの実現のために、「薬剤師になるために」、「早期体験学習」、各教養科目などを配置する。

< 1～6年次 >

■ 社会的責任と使命

「社会的責任と使命」を身につけるため、自己のあり方と他者との関わりを考えるプログラムを実施する。「患者安全」、「臨床心理学」、「応用薬学実習」などの科目を配置するとともに、課外活動にも取り組む。

■ コミュニケーション

「コミュニケーション」を身につけるため、グローバル化への対応や自らの役割に基づいた行動を考えるプログラムを実施する。これらの実現のため、各種語学科目、「医療英会話」、「臨床心理学」、「グローバルコミュニケーション」などの科目を配置するとともに、課外活動にも取り組む。

■ 科学の知識の活用

「科学の知識の活用」を身につけるために、自然科学の知識を補完し、薬学の基礎および専門知識を修得するプログラムを実施する。これらの実現のため、「基盤演習」などの各種演習科目、「化学系薬学実習」などの実習科目を配置する。

■ 情報の収集と評価

「情報の収集と評価」を身につけるために、自然科学や臨床における情報の測定、収集、解析能力を修得するプログラムを実施する。これらの実現のため、各種実習科目、「患者安全」、「患者コミュニケーション」などの科目を配置する。

■ 地域および他職種との連携

「地域および他職種との連携」を身につけるために、地域における薬学と薬剤師の役割を理解するプログラムを実施する。これらの実現のために、「セルフメディケーション演習」などの各種演習科目、「生物・衛生系薬学実習」などの実習科目を配置する。

■ 薬物療法における実践的能力

「薬物療法における実践的能力」を身につけるために、疾病の成因および薬物治療を理解し、薬物の構造的特徴や剤形から体内動態を予測するプログラムを実施する。これらの実現のために、「カルテ読解演習」、「薬学臨床実習事後演習」など

の演習科目、「医療系薬学実習」などの実習科目を配置する。

■多角的な観察と解析

「多角的な観察と解析」を身につけるために、情報の測定、収集、解析をするための知識と技能を修得し、薬学研究を学び、研究に必要な態度を修得するプログラムを実施する。これらを実現するために、「DI 演習」などの演習科目、「薬学研究」などの科目を配置する。

■生涯にわたる自己研鑽、キャリア形成と教育能力

「生涯にわたる自己研鑽、キャリア形成と教育能力」を身につけるために、人や社会の育成について議論し、自己研鑽を図るプログラムを実施する。これらの実現のために、「教育学」、「キャリア形成」などの科目を配置するとともに、課外活動にも取り組む。

< 5～6年次 >

■「8つの資質」を統合した能力を身につけるには、4年次に「プレファーマシー実習」、「フィジカルアセスメント実習」、「実践薬学」などで獲得したパフォーマンスレベルをさらに向上させる必要がある。5～6年次では、本物の場で繰り返しパフォーマンスを発揮し、統合的な能力が定着する教育プログラム「薬学研究」、「薬学臨床実習」、「アドバンスト臨床薬学」などの科目を配置する。

入学者の受入れに関する方針（公表方法：「SETSUNAN UNIVERSITY GUIDE BOOK 2020（大学案内）」（刊行本）（入手方法：電話・HPから資料請求）  
<https://www.setsunan.ac.jp/aboutus/policy/yakugaku/>）

（概要）アドミッション・ポリシー（AP：入学者受入れの方針）本学科のディプロマ・ポリシーおよびカリキュラム・ポリシーを理解し、次に掲げる知識・技能・意欲などを備え、入学後は学修・課外活動に主体的に取り組む人を求めます。

■知識・理解・思考・判断

① 化学を基本とする理科科目だけではなく、数学・語学などに対する高等学校での学習を基盤とした知識を活用する力を有している。

■思考・判断・関心・意欲・態度・技能・表現

② 豊かな人間性を重視する価値観を基盤とした、自らの活動実例を表現できる力を有している。

■知識・理解・思考・判断・関心・意欲・態度・技能・表現

③ 高等学校の学習課程に限らない様々な学習に対して強い興味を示し、積極的な態度によって習得する力を有している。

入学者選抜の実施にあたっては、学力試験、適性検査をはじめとして、大学入試センター試験、面接、学修計画書、小論文、高等学校調査書、英語ほかの資格検定試験の結果などを入試毎に組み合わせて評価します。

学部等名 看護学部
教育研究上の目的（公表方法：「SETSUNAN UNIVERSITY GUIDE BOOK 2020（大学案内）」（刊行本）（入手方法：電話・HP から資料請求） <a href="https://www.setsunan.ac.jp/aboutus/policy/kango/">https://www.setsunan.ac.jp/aboutus/policy/kango/</a> ）
（概要）生命の尊厳と人権の尊重を基盤とした倫理観、心豊かな人間性と看護実践能力を備えた人材を育成し、地域社会における保健・医療・福祉の向上、看護の発展に貢献できる看護職者を養成する。
卒業の認定に関する方針（公表方法：「SETSUNAN UNIVERSITY GUIDE BOOK 2020（大学案内）」（刊行本）（入手方法：電話・HP から資料請求） <a href="https://www.setsunan.ac.jp/aboutus/policy/kango/">https://www.setsunan.ac.jp/aboutus/policy/kango/</a> ）
（概要）ディプロマ・ポリシー（DP：卒業認定・学位授与の方針）本学科の課程を修め、所定の単位を修得したうえで、次の要件を満たした者に学士（看護学）の学位を授与します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>■知識・理解 <ul style="list-style-type: none"> <li>[DP 1]心豊かな人間性と人や社会を理解するための幅広い教養を身につけている。（基礎的教養）</li> <li>[DP 2]対象理解や看護実践に繋がる看護や薬に関する専門的知識を身につけている。（専門的知識）</li> </ul> </li> <li>■思考・判断 <ul style="list-style-type: none"> <li>[DP 3] 広く多面的に情報を収集し、科学的根拠に基づき、問題を解決できる能力を身につけている。（問題解決力）</li> </ul> </li> <li>■関心・意欲・態度 <ul style="list-style-type: none"> <li>[DP 4]生命の尊厳と人権の尊重を基盤とした倫理観をもって看護を実践できる力を身につけている。（倫理観）</li> <li>[DP 5] 保健医療チームの一員として、互いの立場を尊重し意欲的に他者と協働関係を築く力を身につけている。（チームワーク）</li> <li>[DP 6] 地域社会と看護の発展に貢献する意思をもち、看護職として自己研鑽の姿勢を身につけている。（学習意欲・態度）</li> </ul> </li> <li>■技能・表現 <ul style="list-style-type: none"> <li>[DP 7]科学的根拠に裏打ちされた安全安楽な看護を提供するための実践能力を身につけている。（実践力）</li> <li>[DP 8]多様な人々と信頼関係を築くことができるコミュニケーション力を身につけている。（コミュニケーション力）</li> <li>[DP 9] 学習や社会活動に必要な読解力・数理能力をもとに、自らの考えを表現する力を身につけている。（情報リテラシー）</li> </ul> </li> </ul>

教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：「SETSUNAN UNIVERSITY GUIDE BOOK  
2020（大学案内）」（刊行本）（入手方法：電話・HP から資料請求）  
<https://www.setsunan.ac.jp/aboutus/policy/kango/>）

（概要）カリキュラム・ポリシー（C P：教育課程編成・実施の方針）ディプロマ・  
ポリシーに掲げる目標を達成するため、次のとおり教育課程を編成・実施します。

■知識・理解

①心豊かな人間性を涵養し、広範な教養と幅広い視野を身につける基礎・教養科目を配置する。また、人間や人間を取り巻く社会への理解を深める教養科目を配置する。

②身体を系統立てて理解し、健康・疾病に基づいた観察力、判断能力を養う専門基礎科目群を配置するとともに、看護を实践するうえで必要となる知識を身につける各看護学専門領域科目群を配置する。

■思考・判断

③物事を探求する研究的思考を持ち続け、広く多角的に情報を収集する能力を身につける専門科目およびキャリア形成科目を配置する。各看護学専門領域科目群は、講義・演習・実習の授業形態により、知識、技術、態度が体系的に思考でき、確実な問題解決能力が養われるよう専門科目に「看護学概論」、「看護学援助論」、「看護学実習」と看護と統合の实践科目群を段階的に配置する。

■関心・意欲・態度

④1～4年次まで、段階に応じた倫理観を養う「看護倫理」、「看護学概論」「看護学実習」、「看護研究」などの専門科目を配置する。

⑤1～4年次まで、薬学部との協働学習によるチームワークを涵養するキャリア形成科目を配置する。また、保健医療チームの一員として協働関係を築く力を養う「看護学実習」を配置する。

⑥地域社会と看護の発展に貢献する「看護研究」、「統合看護学実習」などの専門科目を配置する。また、目指す看護職像を意識したうえでキャリア設計し、将来ビジョンを明確にしていく力を育むキャリア形成科目や「看護学実習」の専門科目を配置する。

■技能・表現

⑦科学的根拠に裏打ちされた安全安楽な看護を提供する実践能力を身につけるために、講義・演習・実習の授業形態による専門科目「看護学概論」、「看護学援助論」、「看護学実習」を段階的に配置する。

⑧多様な人々との信頼関係構築に必要なコミュニケーション力を身につけるために、キャリア形成科目に「患者コミュニケーション」、専門科目に「カウンセリング論」、「看護対人関係論」、「看護学援助論」、「看護学実習」などを配置する。

⑨自らの考えを表現するための情報リテラシーを身につける「情報リテラシー」「統計の基礎」「保健統計学」「看護研究」「看護学援助論」「看護学実習」などを配



<p>置する。</p>
<p>入学者の受入れに関する方針（公表方法：「SETSUNAN UNIVERSITY GUIDE BOOK 2020（大学案内）」（刊行本）（入手方法：電話・HP から資料請求）  <a href="https://www.setsunan.ac.jp/aboutus/policy/kango/">https://www.setsunan.ac.jp/aboutus/policy/kango/</a>）</p>
<p>（概要）アドミッション・ポリシー（AP：入学者受入れの方針）本学科のディプロマ・ポリシーおよびカリキュラム・ポリシーを理解し、次に掲げる知識・技能・意欲などを備え、入学後は学修・課外活動に主体的に取り組む人を求めます。</p> <p>■知識・理解</p> <p>①国語および外国語の文章を読み解き、かつ自分の考えを論理的に文章として書くことのできる基礎的な知識を有している。</p> <p>②看護の基礎となる生命現象に対する数学、理科（生物・化学）に関する基礎的な知識を有している。</p> <p>■思考・判断</p> <p>③自然科学の現象について自ら調べ、論理的に考えることができる力を有している。</p> <p>■関心・意欲・態度</p> <p>④倫理・道徳観を持ち、生命や人の尊厳を大切にすることを有している。</p> <p>⑤主体的に課外活動やボランティア活動に参加し、他者と相互理解しようとする姿勢を有している。</p> <p>⑥人や看護に関心があり、将来、看護職として地域社会に貢献したいと考え、主体的に学び続ける態度や柔軟な創造力を有している。</p> <p>■技能・表現</p> <p>⑦人と良好な関係を築き、他者の意見に耳を傾け、自分の考えも適切に相手に伝える力を有している。</p> <p>入学者選抜の実施にあたっては、学力試験、適性検査をはじめとして、大学入試センター試験、面接、学修計画書、小論文、高等学校調査書、英語ほかの資格検定試験の結果などを入試毎に組み合わせて評価します。</p>

②教育研究上の基本組織に関すること

<p>公表方法：<a href="https://www.setsunan.ac.jp/aboutus/soshiki.html">https://www.setsunan.ac.jp/aboutus/soshiki.html</a></p>
---

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	3人	—					3人
理工学部		44人	23人	10人	1人	人	78人
外国語学部		15人	10人	11人	人	人	36人
経営学部		12人	12人	2人	人	人	26人
法学部		9人	7人	4人	人	人	20人
経済学部		10人	10人	1人	人	人	21人
薬（6年制）学部		20人	14人	17人	20人	4人	75人
看護学部		9人	7人	9人	13人	人	38人
教養部（一般教育）		1人	2人	1人	人	人	4人
その他		2人	1人	8人	人	人	11人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員				計	
0人		424人				424人	
各教員の有する学位及び業績 （教員データベース等）		公表方法： <a href="http://gyoseki.setsunan.ac.jp">http://gyoseki.setsunan.ac.jp</a>					
c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							
毎年、教授方法等の改善のための研修会、講演会等を開催し、本学の教育改革、教育の質向上につなげている。							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
理工学部	500人	492人	98.4%	2060人	2052人	99.6%	30人	3人
外国語学部	220人	225人	102.3%	890人	932人	104.7%	5人	3人
経営学部	270人	248人	91.9%	1096人	1162人	106.0%	8人	2人
法学部	250人	247人	98.8%	1010人	1055人	104.5%	5人	0人
経済学部	250人	255人	102.0%	1008人	1058人	105.0%	4人	0人
薬学部	220人	219人	99.5%	1320人	1333人	101.0%	0人	0人
看護学部	100人	101人	101.0%	400人	400人	100.0%	0人	0人
合計	1810人	1787人	98.7%	7784人	7992人	102.7%	52人	8人
(備考) 薬学部と看護学部では編入学生を募集していない。								

b. 卒業生数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業生数	進学者数		
		進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
理工学部	469人 (100%)	42人 ( 9.0%)	409人 ( 87.2%)	18人 ( 3.8%)
外国語学部	234人 (100%)	1人 ( 0.4%)	209人 ( 89.3%)	24人 ( 10.3%)
経営学部	261人 (100%)	1人 ( 0.4%)	231人 ( 88.5%)	29人 ( 11.1%)
法学部	240人 (100%)	1人 ( 0.4%)	215人 ( 89.6%)	24人 ( 10.0%)
経済学部	217人 (100%)	1人 ( 0.5%)	198人 ( 91.2%)	18人 ( 8.3%)
薬学部	203人 (100%)	3人 ( 1.5%)	190人 ( 93.6%)	10人 ( 4.9%)
看護学部	115人 (100%)	2人 ( 1.7%)	110人 ( 95.7%)	3人 ( 2.6%)
合計	1739人 (100%)	51人 ( 2.9%)	1,562人 ( 89.8%)	126人 ( 7.2%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項) 摂南大学大学院、大阪大学大学院、大阪市立大学大学院 (株) スギ薬局、大和ハウス工業(株)、ウエルシア薬局(株)、大阪府警察本部				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）					
学部等名	入学者数	修業年限期間内			
		卒業者数	留年者数	中途退学者数	その他
理工学部	543 人 (100%)	398 人 ( 73.3%)	76 人 ( 14.0%)	68 人 ( 12.5%)	1 人 ( 0.2%)
外国語学部	240 人 (100%)	185 人 ( 77.1%)	19 人 ( 7.9%)	35 人 ( 14.6%)	1 人 ( 0.4%)
経営学部	293 人 (100%)	234 人 ( 79.9%)	25 人 ( 8.5%)	34 人 ( 11.6%)	0 人 ( 0.0%)
法学部	256 人 (100%)	221 人 ( 86.3%)	14 人 ( 5.5%)	20 人 ( 7.8%)	1 人 ( 0.4%)
経済学部	252 人 (100%)	199 人 ( 79.0%)	29 人 ( 11.5%)	23 人 ( 9.1%)	1 人 ( 0.4%)
薬学部	248 人 (100%)	160 人 ( 64.5%)	48 人 ( 19.4%)	36 人 ( 14.5%)	4 人 ( 1.6%)
看護学部	112 人 (100%)	106 人 ( 94.6%)	0 人 ( 0.0%)	6 人 ( 5.4%)	0 人 ( 0.0%)
合計	1944 人 (100%)	1503 人 ( 77.3%)	211 人 ( 10.9%)	222 人 ( 11.4%)	8 人 ( 0.4%)
(備考) 転学部した学生はその他に算入。					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

<p>(概要)</p> <p>当該授業科目の開講前年度の 1 月までに授業担当者が授業計画(シラバス)を作成し、授業開講学科の学科長承認および授業開講責任者である学部長の承認を経て、3 月下旬にホームページで公表している。</p> <p>授業計画(シラバス)には、「授業概要・目的」「到達目標」「授業方法と留意点」「科目学習の効果(資格)」「授業計画(各回の授業テーマ、内容、事前事後学習課題)」「関連科目」「教科書・参考書」「評価方法(基準)」「担当者の研究室等」などを記載している。</p>
---

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要)				
成績評価は、授業科目ごとに授業計画に定めた方法と基準により行い、100点満点で60点以上を合格として単位を認定している。				
また、GPA制度を導入し、入学時からの累積GPAが1.3以上を卒業要件として設定している。				
学部名	学科名	卒業に必要な 単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
理工学部	生命科学科	124 単位	④・無	48 単位
	住環境デザイン学 科	124 単位	④・無	48 単位
	建築学科	124 単位	④・無	48 単位
	機械工学科	124 単位	④・無	48 単位
	電気電子工学科	124 単位	④・無	48 単位
	都市環境工学科	124 単位	④・無	48 単位
外国語学部	外国語学科	124 単位	④・無	48 単位
経営学部	経営学科	124 単位	④・無	46 単位
	経営情報学科	124 単位	④・無	46 単位
法学部	法律学科	124 単位	④・無	48 単位
経済学部	経済学科	124 単位	④・無	48 単位
薬学部	薬学科	187 単位	④・無	48 単位
看護学部	看護学科	128 単位	④・無	48 単位
GPAの活用状況 (任意記載事項)		公表方法 :		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法 :		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法 : SETSUNAN UNIVERSITY GUIDE BOOK 2020 (大学案内) (刊行本) (入手方法 : 電話・HP から資料請求) <a href="https://www.setsunan.ac.jp/aboutus/openinfo/">https://www.setsunan.ac.jp/aboutus/openinfo/</a>
---

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)
理工学部	生命科学 科、住環境 デザイン学 科、建築学 科、都市環 境工学科、 機械工学 科、電気電 子工学科	1,400,000 円	250,000 円	—	2016 年 4 月以前入学
		1,260,000 円		100,000 円	2017 年 4 月以降入学の 1 年次
				200,000 円	2017 年度 4 月以降入学の 2 年次以上
外国語学 部	外国語学科	1,060,000 円		—	2016 年 4 月以前入学
		960,000 円		50,000 円	2017 年 4 月以降入学の 1 年次
				150,000 円	2017 年度 4 月以降入学の 2 年次以上
経営学部	経営学科	1,000,000 円		—	2016 年 4 月以前入学
	経営情報学科	900,000 円		50,000 円	2017 年 4 月以降入学の 1 年次
				150,000 円	2017 年度 4 月以降入学の 2 年次以上
法学学部	法律学科	970,000 円	—	2016 年 4 月以前入学	
		870,000 円	50,000 円	2017 年 4 月以降入学の 1 年次	
			150,000 円	2017 年度 4 月以降入学の 2 年次以上	
経済学部	経済学科	1,000,000 円	—	2016 年 4 月以前入学	
		900,000 円	50,000 円	2017 年 4 月以降入学の 1 年次	
			150,000 円	2017 年度 4 月以降入学の 2 年次以上	
薬学部	薬学科	1,900,000 円	450,000 円	—	2016 年 4 月以前入学
		1,720,000 円		100,000 円	2017 年 4 月以降入学の 1 年次
				200,000 円	2017 年度 4 月以降入学の 2 年次以上
看護学部	看護学科	1,650,000 円	250,000 円	—	2016 年 4 月以前入学
		1,510,000 円		100,000 円	2017 年 4 月以降入学の 1 年次
				200,000 円	2017 年度 4 月以降入学の 2 年次以上

その他」は教育充実費

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
(概要) 学生個々の学習レベルに応じてさまざまなサポートを行うのが学習支援センターです。“とことん面倒見の良い教育”をテーマに、数学、物理、化学、情報処理、英語等の学習相談を実施。入学前から卒業にいたるまでの学習支援体制を整えています。不得意科目の克服や授業で不明な箇所、疑問点を解決する場として利用されています。その他、学生のキャンパスライフをサポートします。
b. 進路選択に係る支援に関する取組
(概要) 学生個々の特性や可能性を最大限に引き出し、真に社会に貢献し得る人材育成を目標に、1年次からキャリア形成に取り組んでいます。 卒業後の進路について、自分なりのキャリアデザインを描いて学生生活を送れるよう、学年ごとに系統立ったキャリア教育やガイダンスなどの行事を実施。3年生（薬学部は5年生）からの就職活動支援の場面では、学生個々に応じたきめ細かい就職支援体制を整えています。
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
(概要) 「障がい学生修学支援に関する指針（ガイドライン）」に基づき、障がい学生に対する支援を行っている。 また、保健室・学生相談室と連携しながら、学生の心身の健康等についても支援に取り組んでいる。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：<https://www.setsunan.ac.jp/kenkyu/>